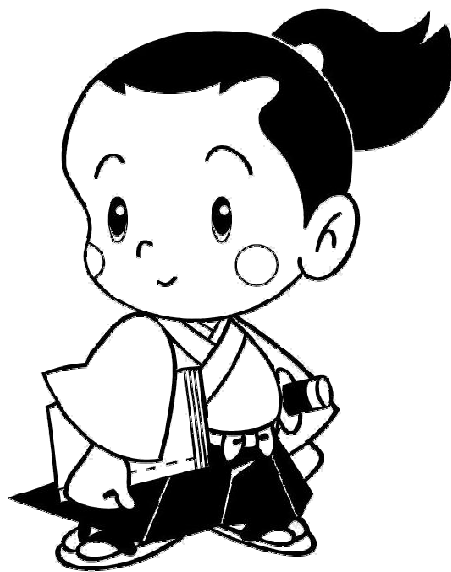


令和 7 年度

東 海 市 の 教 育



へいしゅうくん
Heishu Hosoi

東 海 市 教 育 委 員 会

東海市の概要

東海市は、昭和44年4月1日に上野町と横須賀町が合併し、愛知県で23番目の市として誕生しました。

中部圏最大の鉄鋼基地として臨海工業地帯を形成している一方、県内でも有数の生産量を誇る洋ランや全国有数のフキの産地という都市近郊農業地帯を形成しています。また、名古屋港や中部国際空港へのアクセスにも優れ、伊勢湾岸自動車道などの広域交通の結節点という特性を生かした都市基盤の整備や子育て支援策などに積極的に取り組んでいます。

東海市の位置、面積、人口、世帯

(令和7年5月1日現在)

東 経	136°54'09"
北 緯	35°01'23"

面 積	43.43km ²
人 口	113,240人
世 帯	52,743世帯



東海市の山車

市内には壮麗な山車をお囃子と共に曳き回す尾張横須賀まつりと大田まつりの2つの山車まつり（市指定無形民俗文化財）が伝えられています。江戸時代後期には今の形のまつりが行われていたようで、この頃につくられた山車が横須賀町に5台、大田町に4台あり、市指定有形民俗文化財として保存されています。

ほそ い へいしゅう
細井平洲先生

東海市出身の江戸時代の儒学者。上杉鷹山公の師、尾張藩校「明倫堂」の初代校長として、藩の学校教育、社会教育に尽くした方です。現在の東海市の教育にも平洲先生の教えを伝承しています。

☆表紙の「へいしゅうくん」は細井平洲先生の少年時代をイメージしたキャラクター

目 次

I 教育委員会の概要

1	教育長及び教育委員会委員	1
2	組織・事務分掌	2
3	教育費	3
4	とうかい教育夢プランⅢ	4
5	東海市教育基本方針	8
6	東海市教育ひとづくり審議会	12

II 学校教育

1	学校教育	13
2	教員研修センター	20
3	学校給食センター	22
4	教育支援センター「ほっと東海」	24
5	各学校の概要	25

III 社会教育・文化・スポーツ

1	社会教育	28
2	青少年育成センター	34
3	図書館	35
4	芸術劇場	37
5	スポーツ	39

IV 資料編

1	小中学校児童生徒数、学級数等の状況	43
2	小中学校施設の状況	44
3	教育費保護者負担軽減対策	45
4	給食配食数等	46
5	市内指定文化財・収蔵資料数	47
6	教育施設の利用状況	49
7	芸術劇場自主文化事業	58
8	教育関連施設の概要	60

I 教育委員会の概要

1 教育長及び教育委員会委員



鈴木俊二教育長



堀ノ口香織委員
(教育長職務代理者)



久野友士委員



石川真理子委員



木村敏幸委員

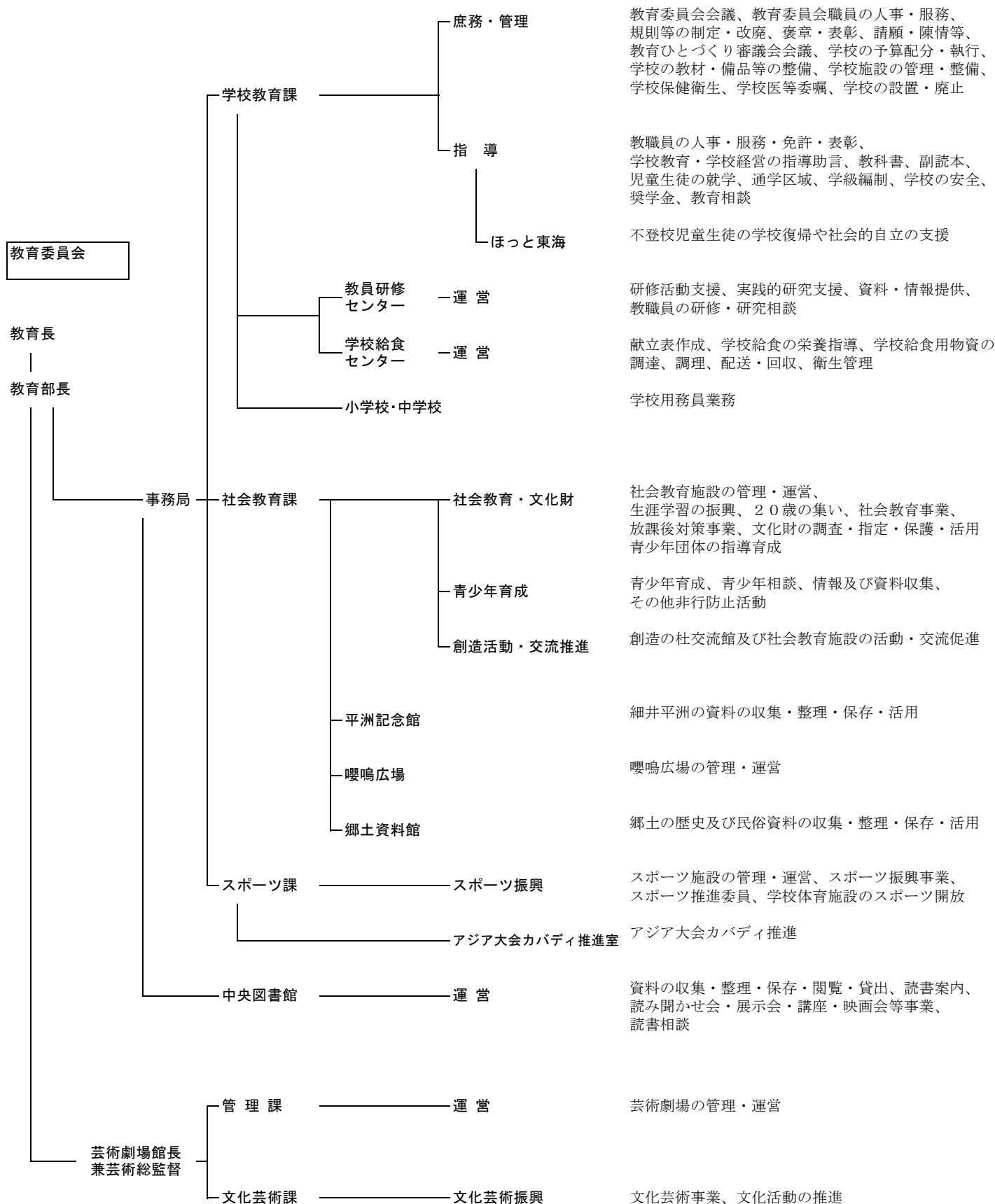


村上直人委員

(令和7年5月30日現在)

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	すず 村 俊 二 鈴 村 俊 二	(令和6年5月30日就任) 令和9年5月29日まで
委 員 (教育長職務代理者)	ほり の ぐち か おり 堀 ノ 口 香 織	(令和5年5月30日就任) 令和9年5月29日まで
委 員	く の ゆう じ 久 野 友 士	(平成30年6月17日就任) 令和8年6月16日まで
委 員	いし かわ ま り こ 石 川 真 理 子	(令和2年5月30日就任) 令和10年5月29日まで
委 員	き むら とし ゆき 木 村 敏 幸	(令和3年5月30日就任) 令和11年5月29日まで
委 員	むら かみ なお ひと 村 上 直 人	(令和3年5月30日就任) 令和11年5月29日まで

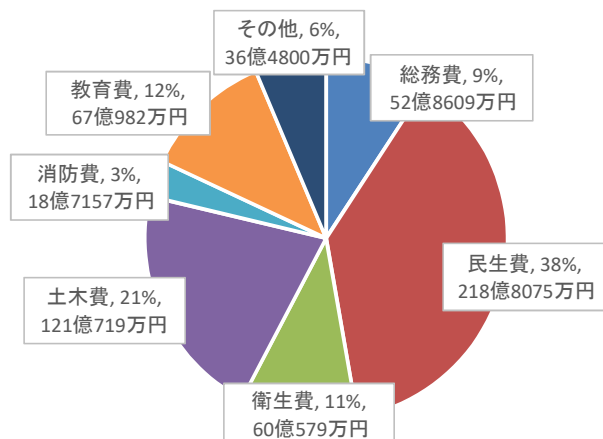
2 組織・事務分掌



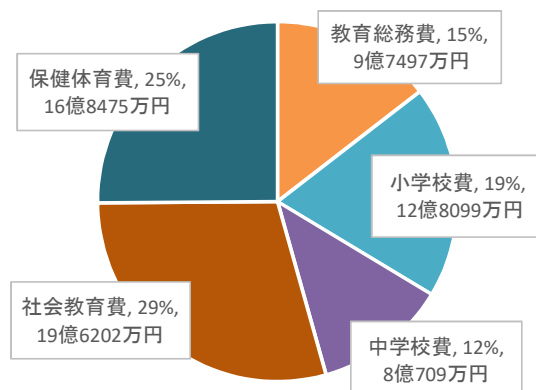
3 教育費

(1) 令和7年度一般会計と教育費（6月補正後）

一般会計予算 575億921万円



教育費予算の内訳 67億982万円



(2) 令和7年度教育費予算（6月補正後）

（単位：千円）

項	目	令和7年度 (6月補正後)	前年度 (当初)	増	減
1 教育総務費	1 教育委員会費	207,860	199,800	8,060	
	2 義務教育振興費	673,791	595,730	78,061	
	3 教員研修センター費	82,290	79,310	2,980	
	4 奨学費	11,030	11,440	-410	
	小計	974,971	886,280	88,691	
2 小学校費	1 学校管理費	906,880	1,187,530	-280,650	
	2 教育振興費	374,110	385,840	-11,730	
	小計	1,280,990	1,573,370	-292,380	
3 中学校費	1 学校管理費	594,140	600,750	-6,610	
	2 教育振興費	212,950	200,380	12,570	
	小計	807,090	801,130	5,960	
4 社会教育費	1 社会教育総務費	203,560	565,210	-361,650	
	2 放課後児童対策費	237,400	211,780	25,620	
	3 青少年育成費	8,110	7,740	370	
	4 文化財保護費	18,210	29,680	-11,470	
	5 公民館費	224,060	215,200	8,860	
	6 図書館費	317,410	327,180	-9,770	
	7 平洲記念館及び資料館費	69,010	34,080	34,930	
	8 芸術劇場費	714,160	627,980	86,180	
	9 創造の杜交流館費	170,100	0	170,100	
	10 創造活動・歴史文化交流施設建設費	0	2,787,010	-2,787,010	
	小計	1,962,020	4,805,860	-2,843,840	
5 保健体育費	1 保健体育総務費	195,850	154,240	41,610	
	2 市民体育館費	409,800	138,250	271,550	
	3 屋外運動場管理費	49,590	147,820	-98,230	
	4 学校給食センター費	1,029,510	1,023,290	6,220	
	小計	1,684,750	1,463,600	221,150	
合計		6,709,821	9,530,240	-2,820,419	

※1項4目奨学費のうち728千円は、幼児保育課予算に含まれるもの。

とうかい教育夢プランⅢ 【概要版】

東海市教育振興基本計画

東海市生涯学習推進計画

東海市教育委員会
令和6年（2024年）3月

プランの概要

● とうかい教育夢プランⅢ

本プランは、「東海市総合計画」を上位計画として、その教育分野をより具体化した本市の教育行政の指針となる計画です。

令和6年度（2024年度）からスタートする「第7次東海市総合計画」や、市と教育委員会が緊密な連携を図るための「東海市教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策の大綱」との整合を図り、本プランが目指す夢の姿の実現に向けて教育行政を推進していきます。

● 東海市を取り巻く社会環境の変化などへの対応

全国的な人口減少と少子高齢化の進展や、デジタル分野での急速な技術革新などの社会環境の変化によって、社会や経済、文化のグローバル化が進展し、個人の価値観やライフスタイルも多様化しています。

こうした社会環境の変化などに対応するため、本プランでは次の視点から課題を抽出し、その対応などの方向性を示しています。

■ 学校教育

- 子どもの学力・体力・道徳性の向上
- いじめ・不登校への対応
- 学校施設の老朽化への対応

■ 社会教育・文化・スポーツ

- 市民のニーズに合った社会教育の場の充実
- 人生100年時代を見据えた生涯学習ニーズへの対応
- 文化芸術の振興と郷土の歴史・伝統文化の保存・継承
- スポーツ活動の推進

● 夢プランⅢの位置付け

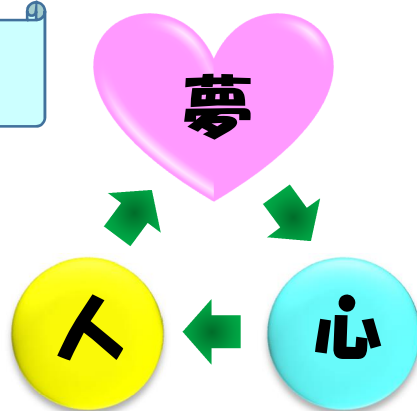
本プランは「第7次東海市総合計画」を上位計画として、その教育分野をより具体化したものとして、また、教育基本法第17条第2項に基づく「東海市教育振興基本計画」及び本市の生涯学習施策の推進に関する指針とするための「東海市生涯学習推進計画」として位置付けます。

基本構想

● テーマ

心そだて 人そだて 夢そだて

夢をもち、目標に向かって努力することにより心が育ち、心が育つことにより人が育ち、夢が実現する。その夢を共有し、さらに大きな夢づくりに向かうことにより、よりいっそう心と人が育つという、教育の循環を表現しています。



● めざす未来像

「子どもを含むすべての世代の市民」が、いつまでも夢をもち続け、夢に向かうプランとするために、めざす「子どもと市民の未来像」を次のように定めます。

めざす子どもの未来像 夢をもち 心豊かにたくましく 生きぬいていける子

めざす市民の未来像 健康で生きがいをもち 学びを力にし 実践する人

● 基本理念

本プランを実現することにより「心そだて 人そだて 夢そだて」が循環し、だれもが幸せを感じられるよう、次の4つを基本理念とします。

理念1

人と人とのつながりを大切に
にし、豊かな心を育てる

理念2

健康な心と体を養い、たく
ましく生きぬく力を育てる

理念3

楽しく学び、学んだことを
実践する人を育てる

理念4

生きがいと夢をもち、
個性輝く人を育てる

● 計画期間

令和6年度（2024年度）から令和15年度（2033年度）までの
10年間とします。

めざす夢の姿（推進計画）

基本構想のテーマとめざす未来像、基本理念を実現するため、教育行政全体を網羅して体系付けた7項目の「めざす夢の姿」です。

夢の姿 1

良好な親子関係が構築され、子どもが
地域で安心して元気に育っている

夢実現への実施手段

- ◆未就学期から思春期までの子育て世代への各種事業の実施や啓発など
- ◆市内小学校での放課後児童クラブの適切な運営

主な事務事業など

- ◇家庭教育推進事業
- ◇放課後子ども総合プラン推進事業（放課後児童健全育成事業）

夢の姿 2

子どもたちが、安心安全な環境で、豊かな心と健やかな
体を育み、生きる力を身につけている

夢実現への実施手段

- ◆子どもたちが生きる力を身につけることができる授業、豊かな心を育むための体験活動、健やかな体づくりのための食育の機会の提供
- ◆スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関などとの連携
- ◆学校施設の計画的改修、建替えや設備の維持管理及び更新

主な事務事業など

- ◇授業力向上事業
- ◇不登校対策事業
- ◇小中学校親善交流事業
- ◇食育推進事業
- ◇小中学校等改修事業

夢の姿 3

学校と家庭・地域が連携し、学校生活の支援や地域での
見守りにより、子どもの成長を支えている

夢実現への実施手段

- ◆ボランティア活動などを通じた学校、家庭、地域の連携促進
- ◆市民、団体、事業者と連携し、スポーツや文化芸術活動などの体験や交流機会の提供及び環境づくり
- ◆子どもの健全育成を担う団体の支援

主な事務事業など

- ◇学校支援協議会設置事業
- ◇放課後子ども総合プラン推進事業
- ◇学習支援教室開催事業
- ◇ふれあい交流推進事業
- ◇青少年居場所づくり推進事業

夢の姿 4

市民が生涯にわたり、楽しく学び、読書に親しみ、
学んだことを生かして暮らしている

夢実現への実施手段

- ◆生涯学習施設などにおける魅力的な講座などの実施や生涯学習推進団体の活動支援
- ◆図書館におけるだれもが利用しやすい図書などの収集や、魅力的な展示

主な事務事業など

- ◇生涯学習推進事業
- ◇地域サロンカフェ推進事業
- ◇子ども読書活動推進事業
- ◇図書館運営事業
- ◇地区公民館等活動推進事業

夢の姿 5

スポーツに取り組む環境が充実し、だれもが日ごろからスポーツに親しみ、取り組むことで、心身ともに健やかに暮らしている

夢実現への実施手段

- ◆各種スポーツ事業や地域におけるスポーツ活動の充実
- ◆スポーツを支える指導者の増加促進
- ◆広域的で魅力あるイベントや企業スポーツチームなどと連携した試合観戦やスポーツ教室などの開催

主な事務事業など

- ◇総合型地域スポーツクラブ補助事業
- ◇スポーツ推進委員会設置事業
- ◇ふるさと大使等スポーツ連携交流事業
- ◇全国大会等出場者激励事業
- ◇東海ハーフマラソン開催補助事業

夢の姿 6

優れた文化芸術にふれたり、質の高い指導を受けることをとおして、市民が心豊かに暮らしている

夢実現への実施手段

- ◆質の高い文化芸術の鑑賞や指導を受けられる機会や、さまざまな文化芸術活動を楽しめる施設や機会の提供
- ◆文化芸術活動に取り組む市民、団体などの支援

主な事務事業など

- ◇芸術劇場自主文化（鑑賞・にぎわい）事業
- ◇芸術劇場自主文化（ひとづくり）事業
- ◇文化祭開催補助事業
- ◇子ども芸能発表会開催事業

夢の姿 7

伝統文化や郷土の歴史が次世代へ継承され、市民が郷土に愛着と誇りをもって暮らしている

夢実現への実施手段

- ◆若い世代に対する郷土の歴史や文化への興味、関心を高めるための学びの機会の提供
- ◆伝統文化や文化財などを保存、継承している団体などの支援

主な事務事業など

- ◇細井平洲顕彰事業
- ◇文化財保存、普及事業
- ◇囃鳴広場各種講座等開催事業

推進体制と進行管理

● 推進体制

教育委員会と関係機関など、地域及び市長部局と緊密に連携し、本プランで示す取り組みを進めます。

● 進行管理

■ 点検及び評価の実施

「第7次東海市総合計画」の評価結果を活用し、自己点検や関係機関からの意見聴取などを踏まえ、評価結果を市議会に提出し、市民に公表します。

■ フォローアップの実施

PDCA サイクルによる効果的なフォローアップを実施し、随時事業の選択、改善、見直しを進めます。

5 東海市教育基本方針

東海市教育委員会は、令和6年度（2024年度）にスタートした「第7次東海市総合計画」や「とうかい教育夢プランⅢ」でめざす夢の姿の実現に向け、学校教育、社会教育、文化及びスポーツの振興及び充実に努める。また、教育基本法の趣旨に基づき、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成に努めるとともに、郷土の偉人である細井平洲先生の教えと地域の伝統を継承し、新しい文化芸術の創造を目指す教育行政の推進に努める。さらに、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた取組となるよう、少子高齢化、地域活力の低下、貧困などの社会の課題や、生きがいづくりや健康づくり、教育の質の向上という社会的ニーズに的確に対応するとともに、ICT機器の活用や少人数学級の推進、中学校部活動の地域展開など、国の教育制度等の動向も注視し、学習や交流、体験を通して幸せを実感できる社会の実現を目指す。これらのことを受け、基本方針及び重点努力目標を以下のように示す。

また、「東海市教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策の大綱」に定めた基本方針の実現に向け、総合教育会議などで市長部局と連携し、教育行政の効果的な推進を図る。

学校教育

【基本方針及び重点努力目標】

基本方針1

子どもたちにとって、成長を実感することができ、学ぶことが楽しいと思えるような学校づくりを推進する。

重点努力目標①

「教員は授業で勝負」を合い言葉に、各学校の実情に応じた教育実践研究の取組が推進されるよう支援することを通して、教員の授業力をさらに向上させる。

- 市内小中学校長の経営方針や現職教育に対する思いについて聴取する機会を設定し、必要に応じて指導助言を行う。
- 教員に対する「デジタルの力でリアルな学びを支える」ICTのさらなる効果的な活用や教育の今日的課題に関する研修の機会を充実させる。
- 初任者や少経験者の力量向上を目指して、教育相談員による教育相談や教科指導員による教科の特質に応じた研修などを各校のニーズに合わせた方法で実施する。

重点努力目標②

「一人を粗末にするとき、教育はその光を失う」というスタンスに立ち、特別な支援が必要な子どもや、不登校傾向のある子どもへの組織的なケアをさらに充実させる。

- 特別な教育的支援を必要とする子どもたちに、その実態を適切に把握して支援することができるよう、特別支援教育支援員を増員したり、教育相談員による相談活動や学校訪問、通級指導教員による子どもたちへの指導を充実させたりする。
- 不登校の子どもたちが学びに向かうことができるよう、スクールソーシャルワーカーなどによる巡回活動や教育支援センター「ほっと東海」による支援活動をさらに充実させる。

- 子どもの「声なき声」を傾聴するとともに、いじめの未然防止や早期発見のための研修の機会や資料を提供したり、保護者に向けて「東海市子どものいじめ防止条例」及び「東海市子どものいじめ防止基本方針」を周知したりすることで、子どもたちの明るい未来を守ることができる環境を整える。

基本方針 2

保護者や地域の方に、より信頼される学校づくりを推進する。

重点努力目標①

「誠意はスピード」を合い言葉に、保護者や地域の方の声に、迅速かつ誠意をもって対応する。

- 学校からの積極的な情報発信を促すとともに、学校と連携して市や学校の特色ある事業や行事の記者発表を行い、保護者や地域の方に最新の情報を提供する。
- 学校評価などを活用して保護者や地域の声を的確に把握することができるよう、学校評価の集計などの業務を支援するとともに、学校が保護者や地域の声に真摯に向き合い、課題を明確にした上で具体的な対策を検討・実践できるよう、指導助言を行う。

重点努力目標②

学校、家庭、地域が連携協力した学校運営を行い、地域と一体となった特色ある学校づくりを推進する。

- 学校支援協議会・評議員会を生かしたコミュニティ・スクールを展開するために、モデル校の運営の検証などを行い、「地域とともにある学校」への転換を図るとともに、学校運営に地域の声を積極的に生かしながら、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進する。
- 地域の企業や大学との相互交流を図り、出前授業や学習支援ボランティアなどを学校に紹介するなどして、学校支援を推進する。
- 中学校部活動の地域展開を推進し、子どもたちが興味関心に応じて自分にふさわしい活動を選ぶことができるようにするため、地域で実施されているスポーツ・文化芸術活動の内容などを子どもたちや保護者に周知していく。

基本方針 3

教職員がゆとりとやりがいをもって毎日の教育活動に取り組むことができる学校づくりを推進する。

重点努力目標①

学校におけるすべての教育活動において、「いきあたりばったり」「知ってるつもり」「やりっぱなし」から脱却する。

- 教職員が教育に関する最新の情報を生かし、「PDCA サイクル」を回しながら教育活動を展開できるようにするため、学校訪問など様々な機会を通して必要な情報の伝達や意識の醸成を行い、「いきあたりばったり」「知ってるつもり」「やりっぱなし」からの脱却を促す。

重点努力目標②

つねに、より少ない時間で、より大きな成果を上げるにはどうしたらよいかということを考えながら仕事に取り組む教職員を育成することを通して、働き方改革をさらに促進する。

- 教職員の「余白」を生み出すために、国の中央教育審議会答申で示されたいわゆる「学校・教師が担う業務に係る３分類」に基づき、教員業務支援員の配置などを行うことにより、学校や教職員を支援する。
- 全教職員に向けて「教育長だより」を発信し、働き方改革を促進するための教職員の意識改革を図る。

社会教育・文化・スポーツ

【基本方針及び重点努力目標】

基本方針 1

生涯を通して学ぶことのできる環境の整備や多様な学習環境を提供し、学習した成果が適切に評価され、これらを生かして誰もが様々な分野で活動できるような地域社会の実現を推進する。

重点努力目標①

楽しみや生きがいを感じる学習などの場を支援する。

- 市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな生活を送ることができ、幼児期から高齢期までの各年代及び世代間の交流が図られる様々な体験や学習の機会を提供し、学習成果を生かすことのできる場を充実させるとともに、自主的で主体的な学習活動を積極的に支援する。
- 新たに開館した東海市創造の杜交流館において、「横須賀文化の発信拠点」「映像（映画）を中心とした創造活動の場」「多世代交流の場」のコンセプトに基づいて、施設の特徴を生かした事業を展開することで、創造性豊かな人材育成につなげていく。

基本方針 2

子どもたちの居場所づくりを推進するとともに、子どもたちの健全な成長を支援する。

重点努力目標①

子どもたちが健全に成長できる環境を充実する。

- 子どもたちの健全な成長を促すため、子ども教室の活動の推進や放課後児童健全育成事業の実施など、家庭教育の充実や学習習慣の定着につながる取組を行い、安心・安全な居場所を確保する。
- 青少年が協調性や社会性を身に付ける機会となる「ふれあい活動」などの交流の場の提供や自主活動の支援を進める。

基本方針 3

文化芸術活動を推進するとともに、郷土の歴史、伝統文化及び文化財の継承と振興を図る。

重点努力目標①

市民が文化に親しみ、心豊かな生活を送るよう支援する。

- 市民の文化活動の活性化への支援と、市民が優れた文化芸術に身近に参加・体験ができ、市民参画による発表・創造活動が展開され、まち全体に賑わいがあふれるようにするため、「ひとづくり」「にぎわいづくり」「生きがいづくり」の理念を掲げ、開館10周年を迎える芸術劇場において、これまでの集大成となる定演や記念公演などを実施するとともに、引き続き文化芸術の創造拠点となるよう、鑑賞事業やにぎわいづくり事業、育成事業といった様々な事業を実施する。
- 文化財の保存・活用を図るとともに、細井平洲先生の教えの普及、啓発を通じて市民の郷土への愛着が深まるよう取り組んでいく。

基本方針 4

市民、各種団体と連携し、市民のスポーツライフを充実させる。

重点努力目標①

気軽にスポーツを楽しむ環境と機会を提供する。

- 体力や年齢、障がいの有無などに関わらず、気軽にスポーツに親しむことができるよう、各種スポーツ事業の充実を図るとともに、アスリート活動を推進するため、企業スポーツチームとの連携によるスポーツ教室の開催や全国大会などに出場する選手の激励などを行う。
- 東海ハーフマラソンなどの広域的なスポーツイベントを開催し、スポーツによる交流を推進する。
- 安全で快適にスポーツに親しむ場の整備に努めるとともに、今後のスポーツ施設の在り方について検討する。

6 東海市教育ひとづくり審議会

東海市では、細井平洲先生を始め逸材を輩出してきた土地柄を踏まえ、乳幼児期から高齢期に至るまでの生涯にわたり、家庭、学校及び地域を通じた人づくりを目指した教育の振興に資するため、平成15年度から教育委員会の附属機関として「東海市教育ひとづくり審議会」を設置しています。

(1) 審議会の特徴

- ・社会教育と学校教育の壁を乗り越え、教育全般について審議する機関であること
 - ・審議会の委員が社会教育委員を兼ねること
 - ・教育委員会の諮問だけでなく、市長の諮問にも応じられること
- などの特徴があり、全国的にもめずらしい独特の性格をもっています。

(2) 審議会の所掌事務

教育委員会又は市長の諮問に応じ、学校教育、社会教育及びこれらに関連する重要事項について調査審議します。また、学校教育、社会教育及びこれらに関連する重要事項について、教育委員会に意見を述べることができます。

(3) 委員の構成

選出区分 学識経験を有する者、学校教育の関係者、社会教育の関係者
家庭教育の向上に資する活動を行う者

*公募委員として2人選出しています。

(4) 過去の主な諮問・答申事項

- ア 令和6年度 学校給食費のあり方について
- イ 平成30年度 学校給食費のあり方について
学校プールのあり方について

(5) 過去の主な審議・報告事項

- ア 令和5年度とうかい教育夢プランⅢの策定について
- イ 令和4年度新施設整備基本計画について（創造活動・歴史文化交流施設について）
- ウ 令和3年度地区公民館・市民館のコミュニティセンター化について
- エ 聚楽園大仏及び仁王像・山車まつりの文化財指定について
- オ 社会教育活動団体の補助金について
- カ 教育に関する事務の点検の評価について

Ⅱ 学校教育

1 学校教育

子どもたちが学習内容を理解し、社会の変化に対応できる力が身に付くように様々な体験学習等を行うとともに、楽しく学び、楽しく遊ぶ学校生活が送れるよう、施設整備、各種サポーターや、心の相談員の配置等を実施している。また、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちを育ていけるよう、地域の方々や保護者等の意見が反映される仕組みづくりを進めている。

(1) 主な事業(6月補正予算議決後)

事業名 令和7年度事業費(千円)	内容
英語が話せる子ども育成事業	小学校1年生から英語に触れ合う機会をつくり、小中学生が外国の言語や文化に関心を持ち、国際社会の一員である自覚を高めるため、外国人による英語指導支援員(ALT)を小中学校に配置し、小中学校が連携した英語・外国語活動を実施する。 (平成9年度に中学校へ2人、以後順次配置し、平成24年度からは小中学校へ12人配置) 事業開始 平成9年度
52,536	
障がい児サポート事業	障がいのある児童生徒の学校生活の支援を行うサポーターを配置(対象児童生徒にサポーター概ね各1人)する。 サポーター 36人 事業開始 平成14年度
103,254	
医療的ケア児就学支援事業	就学する医療的ケア児の受け入れを可能とするため、医療的ケアが必要な時間帯に小学校へ看護師等を派遣する。 事業開始 令和6年度
4,695	
読書活動サポート事業	児童への読み聞かせや調べ学習等への支援と、図書室の読書環境を向上させるため、読書活動サポーターを各小学校に配置する。 サポーター 12人 事業開始 平成19年度
12,802	
特別支援教育支援員設置事業	小学校の通常の学級に在籍する発達障害等の傾向のある児童を適切に支援するため、特別支援教育支援員を配置する。 支援員 26人 事業開始 平成20年度
62,334	
スクールカウンセラー派遣事業	愛知県からの派遣が少ない小学校へスクールカウンセラーを派遣してカウンセリングを実施し、不登校傾向・特別な支援を必要とする児童等に助言を行う。 カウンセラー 5人 事業開始 平成5年度
7,139	
不登校対策連携事業	社会福祉等の専門的な知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置することで不登校傾向の児童生徒に対し効果的な働きかけを行う。 スクールソーシャルワーカー 3人(職員課人件費) スーパーヴァイズ 1人 事業開始 令和2年度
297	
教育支援センター設置事業	不登校傾向等の児童生徒への学習指導、自立支援活動の実施や、居場所づくりのため、教育支援センター「ほっと東海」を市内3か所(横須賀教室・上野公民館教室・平洲中学校教室)に設置運営する 事業開始 平成4年度
32,255	
学校の居場所づくり事業	保健室で養護教諭とともに児童生徒の相談に対応する心の相談員を配置(小学校6校、中学校6校)し、子どもたちの悩みを解消する。 心の相談員 12人 事業開始 平成24年度
36,126	

事業名 令和7年度事業費（千円）	内容
不登校対策協議会設置事業 155	不登校の傾向や実態を把握・分析し、発生防止に取り組むとともに、不登校状態の児童生徒に対する支援等を協議する不登校対策協議会の設置や学校問題解決の支援をする。 事業開始 平成28年度
沖縄体験学習事業 114,564	沖縄の自然や文化に触れ、平和について考える体験学習を実施する。また、姉妹都市の沖縄市の中学生との交流を行う。 時 期 6月 2泊3日 場 所 沖縄市等 対 象 中学2年生全員 事業開始 平成20年度
林間学習事業 8,663	自然に恵まれた環境の中で集団生活を行い、心身ともに健全な育成を図るため、林間学習を実施する 時 期 8月 1泊2日 場 所 岡崎市（野外教育センター） 対 象 小学5年生全員 事業開始 昭和45年度
小学生親善交流事業（米沢市） 2,230	本市の小学生が姉妹都市の米沢市を訪問し、交流を行う。 時 期 2月 2泊3日 場 所 米沢市 対 象 小学5年生24人 事業開始 平成14年度
小学生親善交流事業（釜石市） 3,029	本市の小学生が姉妹都市の釜石市を訪問し、交流を行う。 時 期 8月 2泊3日 場 所 釜石市 対 象 小学6年生24人 事業開始 令和2年度
中学生親善交流事業（沖縄市） 1,060	姉妹都市の沖縄市の中学生を受け入れ、交流を行う。 時 期 11月下旬から12月上旬 3泊4日 対 象 中学2年生16人 事業開始 昭和62年度
中学生親善交流事業（米沢市） 510	姉妹都市の米沢市の中学生を受け入れ、交流を行う。 時 期 7月 2泊3日 対 象 中学3年生12人 事業開始 平成17年度
学校評価事業 1,176	児童生徒や地域の住民を対象に毎年実施するアンケート調査をもとに自己評価と学校関係者による評価を行い、校長の学校経営に反映させる。 事業開始 平成20年度
学校評議員設置事業 129	学校教育活動の計画内容や、地域社会、家庭と学校の連携促進等について、学校評議員と意見交換を行い、開かれた学校づくりに生かす。 委 員 各学校5人（加木屋中を除く。） 事業開始 平成16年度
学校支援協議会設置事業 4,238	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育て見守る体制を整えるため、小学校に学校支援協議会を設置する。 委 員 各学校10人以内（三ツ池小を除く。） ボランティアコーディネーター 各学校4人以内 事業開始 平成23年度から順次配置、 平成27年度から全小学校配置

事業名 令和7年度事業費（千円）	内容
学校運営協議会設置検証事業	地域、家庭の学校運営への参画や支援、協力を促進し、「地域とともにある学校づくり」を進めるため、モデル校に学校運営協議会制度を導入する。 モデル校 三ツ池小、加木屋中 委 員 各学校10人以内 事業開始 令和6年度
116	
中学校部活動地域移行検討事業	地域における子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の機会を確保するため、部活動コーディネーターを配置し、「中学校部活動の地域展開推進委員会」において情報収集・協議を進める。また、吹奏楽について、円滑な地域展開を進めるため、外部指導者を各中学校の吹奏楽部に8月まで派遣する。 事業開始 令和5年度
2,428	
吹奏楽地域クラブ運営事業	東海市の中学生が演奏活動に親しむことができるよう、休日の活動の場として吹奏楽地域クラブを設置する。 場 所 市内6中学校 事業開始 令和7年度
6,390	
奨学金支給事業	高校生に対する奨学金として各学年30人を上限に1人月額1万円支給する。また、平成30年度から入学準備に相当する額として新1年生に対し、5万円支給する。 事業開始 昭和44年度
10,302	
小学校木祖村木材製品購入事業	愛知用水の水源地である長野県木祖村の地域活性化を支援するため、木祖村が長野県産桧材を使用して製品化している教室背面ロッカーを購入し、老朽化した児童用教室背面ロッカーを更新する。 場 所 渡内小（普通教室17室） 事業開始 平成24年度から木製角椅子を購入 令和元年度から木製下駄箱を購入 令和6年度から教室背面ロッカーを購入
17,534	
小中学校水泳授業民間施設活用等事業	民間施設を活用した水泳授業を行う。 【小学校】 8校（名和小、渡内小、平洲小、明倫小、船島小、富木島小、大田小、加木屋南小） 【中学校】 1校（平洲中） 学校プールで授業を行う小学校にインストラクターを派遣する。 【対象校】 4校（緑陽小、横須賀小、加木屋小、三ツ池小） 事業開始 令和2年度
61,894	
I C T支援員派遣事業	国のG I G Aスクール構想により、令和3年度から児童生徒一人一台端末を導入しており、小中学校におけるI C T機器を活用した教育を推進するため、学校への支援としてI C T支援員を3校に1人、計6人派遣する。 事業開始 令和3年度
36,300	
I C T教育推進委員会設置事業	国のG I G Aスクール構想により、令和3年度から児童生徒一人一台端末を導入しており、小中学校におけるI C T機器を活用した教育を推進するため、「東海市小中学校教育情報化推進計画」を含めた今後の方針について、第三者の助言を踏まえながら検討し、子どもたちに深い学びが可能となる環境を整えるため、委員会を設置する。 事業開始 令和3年度
31	

事業名 令和7年度事業費（千円）	内容
小中学校校務用コンピュータシステム運用保守経費 123,527	教職員が児童生徒の出欠・成績・健康状態等を管理するために用いる校務支援システムや、グループウェア等を含めた校務用コンピュータシステムの借上げ及び保守委託を行う。 P C 台数 7 2 4 台 事業開始 令和4年度
小中学校学習用情報端末機等運用事業 284,864	児童生徒用学習端末、教職員用学習端末、普通教室にプロジェクター等を配置し、指導者用デジタル教科書、ドリルソフト等を活用した授業等を行うための物品の借上げ及び保守委託を行う。 P C 台数 児童生徒用：1 0, 7 1 2 台 教職員用：5 0 3 台 事業開始 令和3年度
平洲小学校施設整備事業 21,551	建替えを進めるにあたり、候補地の地質状況等を調査する。また、施設整備のあり方について、有識者の意見を踏まえた検討を行う。 場 所 平洲小
中学校トイレ洋式化整備事業 123,130	生徒が利用する普通教室に面したトイレの全ての和式便器の洋式化及び小便器への自動洗浄装置を設置する。 場 所 全中学校 洋式化1 6 4 便器・小便器自動洗浄器1 7 2 個
小学校屋内運動場空調機設置事業 17,850	小学校の屋内運動場に空調機を新たに設置する。また、災害時に備え空調機用の非常用発電機を整備する。 【小学校】1 2 校（空調機設置） 8 校（非常用発電機整備実施設計）
小中学校プール解体事業 65,783	水泳授業の民間施設の活用により、使用しないプールの解体及び解体を行うためのアスベスト含有等調査を行う。 【小学校】調査：平洲小、解体工事：富木島小 【中学校】調査：富木島中

(2) 姉妹都市交流事業

ア 概要

本市は、山形県米沢市、岩手県釜石市、沖縄県沖縄市、トルコ共和国ブルサ市ニルフェル区、オーストラリア連邦マセドンレンジズ市と姉妹都市として交流をしており、その中でも以下の事業で、小中学生がお互いのまちを行き来し交流をすることで、相互理解と親睦を深めることで生きる力を育んでいる。

イ 小中学生姉妹都市交流事業

(ア) 山形県 米沢市



【心の教育】

小学5年生の代表児童24名が米沢市を訪問して、米沢市の児童と友好親善を図るとともに、本市の郷土の偉人細井平洲先生の教えを実践した米沢市の郷土の偉人、上杉鷹山公の改革の実績を見聞することによって自己の将来の目標を持ち、実践力を養うことによる教育効果を期待するもの。細井平洲先生や上杉鷹山公のゆかりの地を訪れ、先人の教えを学ぶ貴重な機会とする。

また、夏に米沢市の中学3年生の代表生徒12名を2泊3日で受入れ、交流を行う。

(イ) 岩手県釜石市



【防災教育】

小学6年生の代表児童24名が釜石市を訪問して、釜石市の児童と交流を深めるとともに、地震や津波等に対する釜石市の先進的な防災教育の現状を理解することで防災意識の向上を期待するもの。実際に東日本大震災で被災した地を訪れ、防災教育や製鉄の歴史を学ぶ貴重な機会とする。

(ウ) 沖縄県沖縄市



【平和教育】

中学2年生全員が沖縄県へ出向き、2泊3日の集団生活の中で、仲間との絆を強めるとともに、沖縄独自の自然、文化、歴史に触れ、平和について考え、命の尊さ、自然の大切さについて、感じることでできる体験学習を実施している。沖縄市の恵まれた自然、文化や歴史、風土を学習することは、本市の姉妹都市である沖縄市を知る機会でもあり、生徒自身が自分の住んでいる東海市を見直すよい機会にもなっている。また、冬に沖縄市の中学2年生の代表生徒16名を3泊4日で受け入れ、交流を行う。

(3) 不登校対策

不登校児童生徒数を減少させるために心の相談員、スクールカウンセラーを配置するなど様々な取り組みをしている。その背景には、児童生徒自身の心の問題だけでなく、家庭、友人関係、地域や学校等、様々な環境の影響があると考えられることから、社会福祉等の専門的な知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談員、スクールカウンセラーや福祉部門と連携しながら支援を行う。

【教育支援センター設置事業】

(ア) 事業内容

教育支援センター「ほっと東海」の設置運営、自然豊かな環境の中で体験する青空教室（国立若狭湾青少年自然の家）等を実施する。

(イ) 目的

教育支援センターにおいて、不登校傾向等の児童生徒への学習指導、自立支援活動の実施や、居場所づくりを行う。また、青空教室で自然豊かな環境の中で宿泊体験活動を行うことで、参加者相互の交流を図り、新しい一歩を踏み出そうとする気持ちを高める。

【スクールカウンセラー派遣事業】

(ア) 事業内容

愛知県からの派遣が少ない小学校へスクールカウンセラーを派遣してカウンセリングを実施し、不登校傾向・特別な支援を必要とする児童等に助言を行う。

(イ) 目的

子どもたちのいじめ・不登校の悩みや複雑な問題行動に対して、臨床心理士等のスクールカウンセラーのカウンセリングにより、対人関係の改善、学校復帰等を図る。

【学校の居場所づくり】

(ア) 事業内容

保健室で養護教諭とともに児童生徒の相談に対応する心の相談員を配置（小学校6校、中学校6校）し、子どもたちの悩みを解消する。

(イ) 目的

不登校に至る前の最初のサインとして、心の不安を体調不良という形で訴え、保健室を訪問する児童生徒を支援することにより、不登校状態に陥ることを未然に防ぐ。

【不登校対策協議会設置事業】

(ア) 事業内容

不登校の傾向や実態を把握・分析し、発生防止に取り組むとともに、不登校状態の児童生徒に対する支援等を協議及び対策推進のため不登校対策協議会の設置や学校問題解決支援を実施する。

(イ) 目的

学校で発生する不登校問題が長期化・複雑化することを防止し、早期解決を図る。

【不登校対策連携事業】

(ア) 事業内容

不登校傾向にある児童生徒の家庭環境等の様々な影響に対し、社会福祉等の専門的な知識を有するスクールソーシャルワーカーを配置、またスーパーヴァイズによる指導・助言を受けながら支援が必要な児童生徒へ効果的な働きかけを行う。

(イ) 目的

問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけや関係機関等とのネットワークの構築、連携、調整を図り、不登校の改善を図る。

(4) ICT教育

国のGIGAスクール構想により、令和3年度から児童生徒一人一台端末を導入しており、小中学校におけるICT機器を活用した教育を推進し、子どもたちに深い学びが可能となる環境を整えるとともに、学校への支援としてICT支援員を派遣する。また、ICT教育推進委員会を設置し、第三者の意見を踏まえてICT教育を充実させる。

【ICT支援員派遣事業】

(ア) 事業内容

ICT機器を効果的に活用し、授業力の向上を図るにあたり、学校への支援としてICT支援員を派遣するもの。

(イ) 目的

一人一台端末を利用したICT教育推進のために、ICT支援員を配置して支援する。

【ICT教育推進委員会設置事業】

(ア) 事業内容

ICT教育の実施状況と授業力の向上を図り、これからの時代に対応した教育活動の充実を第三者の意見を踏まえ総合的に検討する。

(イ) 目的

外部有識者を交えて、総合的に検討していくことで、子どもたちの深い学びが可能な環境を整える。

【小中学校校務用コンピュータシステム運用保守経費】

(ア) 事業内容

教職員が児童生徒の出欠・成績・健康状態等を管理するために用いる校務支援システムや、グループウェア等を含めた校務用コンピュータシステムを借り上げ、運用する。

(イ) 目的

教員等が効率的に事務を実施することができる。

【小中学校学習用情報端末機等運用事業】

(ア) 事業内容

児童用学習端末、教員用学習端末、普通教室にプロジェクター等を配置し、デジタル教科書、ドリルソフト等を活用した授業等を行う。

(イ) 目的

情報機器を使用した授業を行うことにより、教科書だけの授業より動きのある授業で、学力や学習意欲を向上させる。

(5) 東海市学校支援協議会

ア ねらい

家庭や地域の教育力の低下が指摘され、学校に対して様々な役割が求められている現状において、これからの教育は、これまで以上に、学校・家庭・地域の連携協力のもとに進めていく必要がある。

学校支援協議会では、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育て見守る体制を整えることをねらいとする。また、地域住民が学校現場に参画してもらうことにより、開かれた学校づくりにもつなげていく。

イ 学校支援協議会の機能

(ア) 学校運営について意見交換

(イ) ボランティアコーディネーター（VC）を中心とした学校支援の企画・提案

(ウ) 学校の自己評価の評価（学校関係者評価）

2 教員研修センター

教員研修センターは、市内の小中学校教職員の資質向上と子どもの学力向上を図るため、平成18年4月に尾張横須賀駅西の旧JAあいち知多横須賀支店の3階に設置した。その後、施設改修を経て開館したまなぶん横須賀の3階に、平成30年11月に新たに設置した。

開設以来、教職員の専門性を磨く研修や教育研究の活動拠点として各種研修を実施しているほか、教育関係図書を揃えた図書室、大小2つの研修室などの施設や大型印刷機などの教育機器を教職員の利用に供している。

(1) 主な事業(6月補正予算議決後)

事業名		内容
令和7年度事業費 (千円)		
教員研修センター教育相談事業		【少経験者指導担当】 少経験教員の学級経営や授業づくりの向上を図るため、少経験教員の授業を継続的に観察、相談及び指導・助言を行う。 対 象 少経験教員 事業開始 平成18年度
		【特別支援教育担当】 特別支援教育の推進を図るため、特別支援教育相談員が、教職員や保護者からの相談に対応するとともに、学校巡回を行う。 対 象 教職員及び保護者 事業開始 平成23年度
26,490		
研修講座開催事業		教職員の資質向上のため、保健安全研修、学習指導要領研修、英語・外国語活動研修、ICT教育研修等、時代のニーズや教育的な課題に対応した研修を実施する。 事業開始 平成18年度
269		
教科等研究推進事業		教科及び教科外での活動における教職員の指導力向上を図るため、学校の枠を超えて、教科及び教科外での活動領域の効果的な指導方法等についての研究を推進する。 事業開始 平成23年度
420		
授業力向上事業	各学校の実態に即した研修・研究	外部講師による研修会の開催、セミナー・講習会への参加等、学校現場の事情に合わせた授業研究を行う。 事業開始 平成22年度
	1,800	
	特別支援教育の研修	特別な支援を要する子への適切な支援に繋げるため、優れた講師によるモデル授業の参観や授業研究を行い、外部講師から指導・助言を受ける。 事業開始 平成25年度
656		

(2) その他支援制度

事業名	内容
教科指導員制度	少経験教員の授業力向上を図るため、教科指導に優れた教職員を「教科指導員」とし、各教科部会にて模範授業、授業研究等による教科指導を実施する。 対 象 少経験教員 事業開始 平成23年度
特別支援教育相談	特別支援教育相談員が保護者からの相談に対応する。 対 象 保護者 事業開始 平成23年度

(3) 施設利用案内

ア 開館時間

月曜日 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

火曜日～金曜日 9 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0

イ 休館日

土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日

1月1日～1月3日及び12月29日～12月31日



教員研修センター

3 学校給食センター

学校給食センターは、昭和44年度に第1調理場が稼動し、昭和47年度に第2調理場、昭和50年度に第3調理場が稼動して、共同調理場方式による完全給食の供給体制を確立した。

しかし、その後の児童生徒数の減少により平成2年度に調理場の統廃合を行い、現在は明倫調理場と加木屋調理場の2つの調理場で小中学校へ年間約190日給食を提供している。

給食内容は、主食・牛乳及び副食（おかず）の組み合わせを基本にして、選択給食（卒業お祝い給食、セレクト給食）を提供するなど、多種類の食品を使用して多様な献立を工夫し、食に関する意識を高めていくよう配慮している。

学校給食費については令和7年4月に改定を行った。

重点目標

- ・児童生徒が望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校における指導体制の整備を図り、楽しい給食を目指す。
- ・学校と連携して、学校給食を活用した食育の充実を図る。
- ・地域の食文化の理解を深めるよう、郷土料理や地場産物の使用に努め、食を支える人々の活動を紹介する。
- ・食品や施設等の衛生管理を徹底し学校給食関係者の衛生意識を高めるとともに、食材の選定に考慮して「安心・安全」な給食を実施する。

(1) 主な事業(6月補正予算議決後)

事業名	内容
令和7年度事業費 (千円)	
厨房備品購入事業	老朽化した厨房備品(食缶消毒保管機等)を更新する。
20,317	
学校給食調理事業	調理等の専門業者による衛生管理や調理技術等を活用することにより、安心安全な給食を提供する。
887,701	委託開始 平成12年度

(2) 行事

事業名	内容
食に関する指導	栄養教諭が各学校を巡回し、小中学校の特別活動等の時間を活用して食に関する授業を行う。また、児童生徒と一緒に学校給食を食べて、配膳の仕方や偏食等の個人指導を行う。 事業開始 平成元年度
親子料理教室	夏休み期間中に児童とその保護者を対象とし、旬食材、苦手意識のある食材を使用し、おいしく楽しく栄養バランスがよい料理を実習することにより、親子のコミュニケーションを図ることを目的として実施する。 開催日 7月30日、31日 (各日20人(10組)程度) 対象 小学3～6年生の児童と保護者 場所 富木島公民館 事業開始 昭和60年度
もぐもぐ食育デー	地場産物を多く利用した特別献立により食べ物に感謝して食べるよう学校給食を実施する。 開催日 毎月19日 事業開始 平成17年度
愛知を食べる学校給食の日	地場産物を使用することにより児童生徒が地域の産物への理解を深める学校給食を実施する。 開催日 6月19日 事業開始 平成19年度

事業名	内容
学校給食週間	地場産物や郷土料理のポスターを作成し、地場産物を多く使用した献立や各地の郷土料理を取り入れた学校給食を実施する。 開催日 1月19～23日 事業開始 昭和25年度
姉妹都市の郷土料理を味わう日	姉妹都市の米沢市、釜石市、沖縄市、トルコ共和国ブルサ市ニルフェル区、オーストラリア連邦ビクトリア州マセドンレンジズ市の郷土料理を取り入れた学校給食を実施する。 時期 5月～3月の年5回 事業開始 平成12年度
トマトの日	トマトを使用した学校給食を実施する。 開催日 毎月10日 事業開始 平成26年度
試食会	学校行事に合わせて保護者等の学校給食試食会を行う。
調理場の見学	学校の授業の一環として、児童生徒が調理施設や調理作業等の見学会を行う。
食物アレルギー対応	学校給食における食物アレルギー対応として、児童生徒に対し代替食の提供を実施する。 牛乳代替食(豆乳)の提供 事業開始 平成29年6月 主食代替食(パックご飯)の提供 事業開始 令和6年10月
学校給食主任者会	栄養価が高く安全かつ良質で魅力的な給食内容とするため、献立の原案等について協議する。 時期 4月～3月の年6回

(3) 学校給食の現況

形態	完全給食(主食+牛乳+副食)	
調理方法	センター(共同調理場)方式	
学校給食費	小学校 310円 中学校 360円(令和7年4月から)	
主 食	ごはん	8種類のごはんのうちから使用 県内産「あいちのかおり」主体、委託炊飯 回数 週3. 8回
	パン	14種類のパンのうちから使用 県内産小麦粉50% (愛知のツイストパンは、県内産小麦粉100%) 回数 週0. 7回
	めん	ソフトめん、白玉うどん、中華めん、きしめんの4種類のうちから使用 ソフトめん県内産小麦粉50% 中華めん・白玉うどん・きしめん県内産小麦粉95%と100%がある 回数 週0. 5回
	主食代替食(パックご飯)の提供	
牛 乳	1人200cc(成分無調整) 県内産、牛乳代替食(豆乳)の提供	
副 食	主食との組み合わせで食事摂取基準を考慮する。	
	エネルギー、たんぱく質、脂質、カルシウム、食物繊維、鉄、ビタミン等の適正な摂取に努める。	
	旬の食材、地場産物の使用に努める。	
そ の 他	選択給食(卒業お祝い給食、セレクト給食)を取り入れる。	

4 教育支援センター「ほっと東海」

教育支援センター「ほっと東海」は、不登校傾向の児童生徒を支援するために、以下のことを実践する。

- ・健康で安心して活動できる機会や場づくりを心がける。
- ・自己表現力の向上を図り、健全な人間関係と自立心を育てる。
- ・個々がもつ可能性を引き出し、個に合った学習をすすめ、学力の向上・定着を図る。
- ・多様な学習・体験活動をととして自信をつけさせ、段階的に集団への適応を促す。
- ・家庭・地域・学校・関係諸機関との交流・連携を大切にする。

「ほっと東海」は、平成4年9月に「学校へ登校できない児童生徒」のために青少年センター内に横須賀教室として開設し、通級児童生徒7人からスタートした。また、平成12年度から児童生徒に自然と直接ふれあう宿泊体験活動「青空教室」を国立若狭湾青少年自然の家にて実施している。さらに、平成15年度からは上野公民館教室を開設し、横須賀教室（平成23年4月教員研修センター内に移設）との協力体制のもと、不登校傾向の児童生徒の支援活動を行っている。

なお、不登校対策については最重点課題としており、学校では「グループ支援」活動など組織的な不登校対策の推進、スクールカウンセラーによる「ほっと東海」における拠点相談活動の実施等にも取り組んでいる。令和2年度からはスクールソーシャルワーカーを学校に配置又は派遣し、課題を抱える児童生徒を取り巻く環境にも働きかけている。

不登校の児童生徒が年々増加傾向にある中、不登校傾向の生徒への支援も視野に入れ、令和6年4月より平洲中学校内に平洲中学校教室を開設するとともに、長期欠席の児童生徒の学習する場や居場所として、また、社会で自立する子どもの育成を目指す場としての役割を踏まえ、「適応指導教室」から「教育支援センター」へ名称を変更した。

(1) 施設利用案内

ア 場所

横須賀教室（まなぶん横須賀内）

東海市養父町北反田41

電話 0562-33-1616

上野公民館教室（上野公民館内）

東海市名和町南之山10-4

電話 052-603-0999

平洲中学校教室（平洲中学校内）

東海市富貴ノ台五丁目181

電話 052-601-7131

イ 開所時間

月曜日～金曜日 9:00～15:00、土曜日 9:00～12:00

ウ 休所日

(ア) 横須賀教室・上野公民館教室

日曜日、月曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日及び学校休業日

1月1日～1月3日及び12月29日～12月31日

(イ) 平洲中学校教室

日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日及び学校休業日

1月1日～1月3日及び12月29日～12月31日

5 各学校の概要

	東海市立緑陽小学校 りよくよう	所在地 東海市名和町石谷 8 0
	設立年月 昭和 4 7 年 4 月	Tel 052-604-1976 Fax 052-604-1975 Mail ryokuyos@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/ryokuyo-e/
○校訓 「つよく 明るく より高く」 ○目指す児童像 健康で、ねばり強い子 礼儀正しく、助け合う子 進んで学び、よく考える子		
	東海市立名和小学校 なわ	所在地 東海市名和町山東 1 0
	設立年月 明治 3 7 年 5 月	Tel 052-603-1151 Fax 052-603-1152 Mail nawas@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/nawa-e/
○校訓 「中和」－中道を和して進む－ ○目指す児童像 よく考える子 なかよく助け合う子 力いっぱい運動する子		
	東海市立渡内小学校 わたうち	所在地 東海市荒尾町義呂 1-1
	設立年月 昭和 4 9 年 4 月	Tel 052-604-0666 Fax 052-604-0688 Mail watautis@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/watauchi-e/
○校訓 「広い知識 豊かな心 強い体」 ○目指す児童像 自分で考え、意見をもつ子ども 自ら課題を見つけ、学び続ける子ども 進んでコミュニケーションしようとする子ども		
	東海市立平洲小学校 へいしゅう	所在地 東海市荒尾町片坂 1
	設立年月 明治 4 0 年 1 月	Tel 052-603-0024 Fax 052-603-0048 Mail heisyus@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/heisyu-e/
○校訓 「あかるく なかよく たくましく」 ○目指す児童像 心身ともに健康で、明るく伸び伸びした子ども ねばり強くがんばりぬく、気力ある子ども 社会性を身に付け、協力の尊さを知る子ども		
	東海市立明倫小学校 めいりん	所在地 東海市荒尾町土取 1-1
	設立年月 昭和 4 4 年 4 月	Tel 052-603-2011 Fax 052-603-2018 Mail meirins@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/meirin-e/
○校訓 「夢・汗・心」 ○目指す児童像 夢をもち、自ら進んで学ぶ子 汗を惜しまず、心身を鍛える子 明るい挨拶ができ、思いやりのある子		
	東海市立富木島小学校 ふきしま	所在地 東海市富木島町手代 4 4
	設立年月 昭和 4 0 年 4 月	Tel 052-601-5311 Fax 052-601-5312 Mail fukisims@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/fukishima-e/
○校訓 「自ら学ぶ 行いで示す 体を鍛える」 ○目指す児童像 すすんで学び、考える子 あいさつ、返事、はきものそろえができる子 元気よく体力づくりができる子		

	東海市立船島小学校 ふなじま	所在地 東海市富木島町船島 1-1	
	設立年月 昭和 55 年 4 月	Tel 052-604-3536 Fax 052-604-3553	Mail funajims@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/funajima-e/
○校訓 「よく考え 心ゆたかに たくましく」 ○目指す児童像 進んで学ぶ子・問題解決に努力する子 あいさつのできる子・相手を思いやる子 物事にねばり強く取り組む子 進んで体力づくりに取り組む子			
	東海市立大田小学校 おおた	所在地 東海市大田町細田 2 3	
	設立年月 昭和 47 年 4 月	Tel 0562-32-6272 Fax 0562-32-6273	Mail otas@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/ota-e/
○校訓 「仲良く 明るく 元気よく」 ○目指す児童像 自ら学び、真剣に考える子 明るく、礼儀正しい子 命を大切にし、健康な子			
	東海市立横須賀小学校 よこすか	所在地 東海市高横須賀町大塚 3 6	
	設立年月 明治 40 年 1 月	Tel 0562-32-1291 Fax 0562-32-1292	Mail yokosuks@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/yokosuka-e/
○校訓 「明るく たくましく 心豊かに」 ○目指す児童像 よく考え 自ら学び 明るく行動する 子ども 命を尊び 心や体を鍛え たくましく生きる 子ども 豊かな心をもち 互いに高めあう 子ども			
	東海市立加木屋小学校 かぎや	所在地 東海市加木屋町編笠 9	
	設立年月 明治 20 年 4 月	Tel 0562-32-2207 Fax 0562-32-2208	Mail kagiyas@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/kagiya-e/
○校訓 「元気で 仲よく 真剣に」 ○目指す児童像 心もからだも たくましい子 思いやりの心をもち、礼儀正しい子 よく考え、自ら学ぶ子			
	東海市立三ツ池小学校 みついけ	所在地 東海市加木屋町鎌吉良根 9	
	設立年月 昭和 51 年 4 月	Tel 0562-34-6313 Fax 0562-34-6352	Mail mituikes@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/mitsuike-e/
○校訓 「学ぶ(知) 行う(徳) 鍛える(体)」 ○目指す児童像 意欲をもち学び続ける子 目標に向かって行動する子 ねばり強くやりとげる子			
	東海市立加木屋南小学校 かぎやみなみ	所在地 東海市加木屋町泡池 2	
	設立年月 昭和 44 年 4 月	Tel 0562-34-9303 Fax 0562-34-5844	Mail kanans@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/kagiyaminami-e/
○校訓 「みとめあい まなびあい たかめあい」 ○目指す児童像 礼儀正しく、おもいやりのある子 自ら学び、最後までやり抜く子 健康な心と体をもち、丈夫な子			

	東海市立名和中学校 なわ	所在地 東海市名和町中首羅 1-1	
	設立年月 昭和 54 年 4 月	Tel 052-601-2240 Fax 052-601-2272	Mail nawat@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/nawa-j/
○校訓 「自主 協調 剛健」 ○目指す生徒像 自ら学び、きびしく自己を律する生徒 礼儀正しく、互いに協力し合う生徒 心身ともにたくましく、ねばり強く取り組む生徒			
	東海市立上野中学校 うえの	所在地 東海市名和町奥平戸 28	
	設立年月 昭和 22 年 4 月	Tel 052-603-1248 Fax 052-603-1249	Mail uenot@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/ueno-j/
○校訓 「英気・剛健・協調」 ○目指す生徒像 自らをきびしく律し、すぐれた意志と実行力をもつ生徒 強い心と健やかな体を鍛え、たくましく生き抜く生徒 礼節と責任を重んじ、豊かな心で他と協力する生徒			
	東海市立平洲中学校 へいしゅう	所在地 東海市富貴ノ台五丁目 181	
	設立年月 昭和 59 年 4 月	Tel 052-601-2740 Fax 052-601-2746	Mail heisyut@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/heishu-j/
○校訓 「自学・礼節・先施」 ○目指す生徒像 目的をもって自ら学ぶ生徒 礼節をわきまえ他を思いやる生徒 先施の心で実践できる生徒			
	東海市立富木島中学校 ふきしま	所在地 東海市富木島町向イ 27	
	設立年月 昭和 44 年 4 月	Tel 052-603-2355 Fax 052-603-2356	Mail fukisimt@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/fukishima-j/
○校訓 「自学」「真心」「鍛錬」 ○目指す生徒像 自ら学ぶ態度をとる生徒を育てる 真心を行動で示す生徒を育てる 進んで心身を鍛える生徒を育てる			
	東海市立横須賀中学校 よこすか	所在地 東海市高横須賀町猫狭間 2	
	設立年月 昭和 22 年 4 月	Tel 0562-32-2241 Fax 0562-32-2242	Mail yokosukt@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/yokosuka-j/
○校訓 「質実 勤勉 奉仕」 ○目指す生徒像 「なぜ」を大切にする生徒 「面倒くさい」を大切にする生徒 「まわりの人」を大切にする生徒			
	東海市立加木屋中学校 かぎや	所在地 東海市加木屋町西御嶽 18-1	
	設立年月 昭和 50 年 4 月	Tel 0562-34-3405 Fax 0562-34-4525	Mail kagiyat@ma.medias.ne.jp URL http://www.edtokai.jp/kagiya-j/
○校訓 「自主 協調 奉仕」 ○目指す生徒像 自ら考え、正しい判断をし、実行する生徒 集団の一員として他を思いやり、よりよく 生きようとする生徒 他のことを考え、自ら進んで奉仕する生徒			

Ⅲ 社会教育・文化・スポーツ

1 社会教育

すべての市民が、いつでも、どこでも学ぶことのできる学習環境をつくるとともに、学習の成果を地域で生かすことができるよう、生涯学習の観点に立った社会教育の諸事業を推進する。また、細井平洲先生の顕彰をはじめ郷土の歴史や伝統文化の継承、また文化財の保護と活用に向けた事業を行っている。

(1) 主な事業(6月補正予算議決後)

事業名 令和7年度事業費(千円)	内容
20歳の集い開催事業 3,912	20歳を迎える市民等に対しふるさと東海市を意識する機会として、また、今後の将来を担って活躍することを励ますために集いを開催する。令和7年度に20歳を迎えられる方で実行委員会を組織し、実施する。 開催日 1月11日 場所 芸術劇場 対象 令和7年度に20歳を迎えられる方 事業開始 昭和44年度 ※令和4年度より、「成人の集い」から事業名を変更
地域学校協働活動検証事業 1,714	「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域全体で子どもたちの成長を支えるため、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を、モデル校で実施検証する。 対象モデル校 三ツ池小学校、加木屋中学校 事業開始 令和6年度
家庭教育シンポジウム開催事業 567	家庭教育に関する課題の解決及び家庭教育力の向上を図るため、参加型のシンポジウムを開催する。 対象 子どもをもつ保護者 回数 年1回 定員 200人 事業開始 令和2年度
民謡(踊)保存会活動補助事業 90	東海市の民謡(踊)保存会が行う本市ゆかりの民謡及び踊りの普及・保存のための事業に要する経費に対して補助する。 事業開始 昭和57年度
ものづくり子ども教室開催事業 2,686	本市の特色ある「ものづくり」を体験・体感することにより、子どもたちの創造性や感受性を育むことを目的に開催する。 開催日 8月5日 場所 芸術劇場、大屋根広場 他 対象 小学生 事業開始 平成28年度
放課後児童健全育成事業 207,015	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生を対象に、学校の授業終了後に適切な遊びや生活の場を与えることにより、児童の健全な育成を図ることを目的に実施する。 平均児童利用数(一日あたり) 令和5年度: 818人【登録人数: 2,235人】 令和6年度: 843人【登録人数: 2,316人】 事業開始 平成19年度
学習支援教室開催事業 3,722	家庭学習が十分でない中学生に対し、学習する場を提供して生徒の居場所をつくるとともに、学習習慣を身に付けることで基礎学力の向上を支援する。 場所 横須賀図書館、しあわせ村(保健福祉センター) 対象 市内6中学校の塾等に通っていない生徒 事業開始 平成30年度

事業名 令和7年度事業費（千円）	内容
子ども教室開催事業	子どもたちが様々な体験・活動を行うこと及び子どもたちの居場所をつくることを目的として、放課後や土曜日に地域の方々の参画を得て、スポーツや文化活動を実施する。 なお、令和4年度より地域の支援を得て児童のスポーツ・文化体験活動の機会の充実を図っている。 時 期 5月～3月 場 所 各小学校 対 象 小学生 事業開始 平成19年度
27,699	
指定文化財補助事業	市指定文化財の修理、保存、維持管理経費等に対する補助を行うことで指定文化財の適正な保存を図る。 対 象 市内文化財所有者及び管理者 事業開始 昭和44年度
8,173	
文化財普及啓発事業	市指定文化財等を適切に普及啓発する。 内 容 文化財標示看板修繕、文化財防火デー、 発見！わが町探検隊 事業開始 令和4年度
1,788	
地区公民館等活動推進事業	地域住民に交流の場、学びの場を提供するため、それぞれの館へ教室・講座・展示・大会等の実施を委託する。 対 象 各地区公民館・市民館 事業開始 平成6年度
4,960	
上野公民館給排水設備改修事業	高齢者等が安心して利用できる環境を整備するため、老朽化している給排水設備の改修にあわせ、上野公民館にバリアフリースイレを設置する。 内 容 改修工事
37,810	
地域サロンカフェ推進事業	地域住民が気軽に交流できる場を設け、公民館等の活動や地域活動につなげていくため、地域サロンカフェを実施する。 対 象 加木屋市民館、三ツ池市民館、船島市民館、 大田市民館、加家公民館、高横須賀公民館、 平島公民館、富田公民館、富木島公民館 事業開始 平成23年度
405	
嚶鳴協議会活動事業	ふるさとの先人をまちづくり、人づくり、心そだてに生かしている自治体と連携し、「嚶鳴広場」を情報発信の拠点として、先人の志と行動力に学ぶ元気な地方交流を図る。 事業開始 平成20年度
8,407	
嚶鳴広場特別展示等開催事業	細井平洲先生をはじめとする全国の先人の教えを分かりやすく学ぶことができる場である芸術劇場内の嚶鳴広場において、特別展示や講演会を開催することにより、先人の教えを市内外に広く発信し、遺徳顕彰を図る。 事業開始 平成28年度
3,119	
平洲記念館・郷土資料館活用推進事業	平洲記念館・郷土資料館を活用し、郷土の偉人細井平洲先生の教えや郷土の歴史を広く伝え、ふるさとを愛する心を育むことを目的とした事業を行う。 内 容 市内小学校平洲記念館・郷土資料館来館、 体験学習 各校1回（1学年） 事業開始 令和5年度
10,182	
平洲会補助事業	細井平洲先生の遺徳顕彰を行う東海市平洲会の活動を支援し、平洲先生の遺徳顕彰を図る。 事業開始 昭和44年度
200	
ボーイ・ガールスカウト活動補助事業	各団が奉仕事業を行うことにより、地域に貢献するとともに、市民の地域社会への参加の促進と地域連携の育成を図るため、活動に対する補助を行う。 事業開始 昭和44年度
250	

事業名	内容
令和7年度事業費（千円）	
少年少女発明クラブ活動補助事業	少年少女にもものづくりの楽しさや創意工夫する面白さを体験させる場を提供するとともに、科学に関する基礎的な知識及び自ら考え工夫する力を育むため、少年少女発明クラブの活動に対する補助を行う。
234	事業開始 平成元年度
東海市創造の杜交流館活用促進事業	施設の知名度向上やその活用方法について周知を図るとともに、映像分野やクリエイティブな活動への興味や関心を引き出すことで、施設の利用促進と創造性豊かな人材育成につなげるため、映像クリエイターによる講演会と施設PRを実施する。
5,196	内 容 名古屋駅でのデジタルサイネージ広告等



加木屋子ども教室「御殿万歳」

(2) 施設利用案内

ア 創造の杜交流館

創造の杜交流館は、「横須賀文化の発信拠点」、「映像(映画)を中心とした創造活動の場」、「多世代交流の場」をコンセプトに、令和7年5月に開館した。

地域の歴史文化を学び、体感するとともに、「映像」を活用することにより、生涯学習活動や創造活動の発展と人々の交流を促進していく。

※創造の杜交流館は、令和7年5月1日から指定管理者による管理運営を行っている。

利用案内

- (ア) 開館時間 9:00～22:00
- (イ) 休館日 第2月曜日(月曜日が休日に当たるときは、その日後の休日でない日)
1月1日～1月3日及び12月29日～12月31日
- (ウ) 利用手続 利用日の属する月の6月前の月の初日から利用日5日前(部屋によっては、当日)までに利用申込書の提出を受け、承諾書の交付を行う。
- (エ) 利用室名 「IV資料編」「11 教育関連施設の概要」を参照



創造の杜交流館

イ 上野公民館

上野公民館は、市の全域を対象とする公民館として、市民の文化的欲求や学習意欲に応えるため、様々な学習の「場」と「機会」を提供している。市内各小学校区に設置されている地区公民館（９館）、市民館（５館）、町内公民館（２館）と連携を取りながら、市民が人生の新しい価値を創造するための契機となることを目指すため、次の点に留意し、公民館活動を推進している。

- ・市民の文化的欲求及び学習意欲に応えるため、学習傾向等の情報収集を行い、事業企画の充実を図る。
- ・市民の文化的活動及び学習活動を促進するため、身近な文化や芸術に接する機会を提供する。
- ・市民の学習グループとその指導者の育成を図るため、市民の自発的な学習グループを多面的に支援する。

※上野公民館は、平成２３年４月１日から指定管理者による管理運営を行っている。

利用案内

- (ア) 開館時間 ９：００～２１：００
- (イ) 休館日 月曜日（月曜日が休日に当たるときは、その日後の休日でない日）
１月１日～１月３日及び１２月２９日～１２月３１日
- (ウ) 利用手続 使用日１８０日前から５日前までに利用申込書の提出を受け、承諾書の交付を行う。

ウ 地区公民館・市民館

館長・主事・管理員を任用して、館の管理運営に関しては市直営で行っている。活動運営については、地区住民の生活・環境・健康等に関する事業及び地域に見合った各種教室・講座等を実施するため、校区運営委員会へ委託し、次の点に留意し活発に事業を展開している。

- ・校区運営委員会を通じ、地区公民館、市民館、町内公民館において、それぞれの地域の特性に応じた住民の学習要求や課題にあった活動を実施する。
- ・各種講演会・教室・講座・研修会等を校区運営委員会で協議し、年間カリキュラムに従ってそれぞれの館で自主的に活動を行う。
- ・校区運営委員会代表者、地区公民館等の館長・主事・管理員で「市民館・公民館連絡協議会」を構成し、各館相互の連絡・連携を図り、社会教育及び文化振興に寄与することを目的として活動している。

利用案内

- (ア) 開館時間 ９：００～２１：００
- (イ) 休館日 日曜日 下名和公民館、平島公民館、富田公民館、船島市民館、
高横須賀公民館、横須賀公民館、加木屋市民館、
三ツ池市民館
月曜日 上名和公民館、加家公民館、富木島公民館、大田市民館
火曜日 渡内公民館、加木屋南市民館
１月１日～１月３日及び１２月２９日～１２月３１日
- (ウ) 利用手続 使用日前６０日から利用日までに利用申込書を館へ提出
- (エ) 利用室名 「Ⅳ資料編」「１１ 教育関連施設の概要」を参照

エ 平洲記念館・郷土資料館

平洲記念館は、細井平洲先生の誕生地にほど近い、旧平島村^{ひらしま}の氏神^{うじがみ}を祀る神明社境内の中にある。同境内は平洲没後七回忌に尾張藩の門人らが建てた『細井平洲先生旧里碑』の記念碑もあり、平洲先生ゆかりの地である。平洲記念館では、細井平洲先生の書画の作品や書簡等を中心に展示しており、平成12年10月には、巨大日本地図による関係地域の紹介とDVDで学習のできる平洲ホール、講義室「嚶鳴館」^{おうめい}を増築した。併設の郷土資料館では、市内の遺跡から出土した考古資料や本市に関わる各種の歴史資料や民俗資料を展示している。

利用案内

- (ア) 開館時間 9:00～16:30
- (イ) 休館日 月曜日（月曜日が休日に当たるときは、その日後の休日でない日）、1月1日～1月3日及び12月29日～12月31日
- (ウ) 入場料 無料

細井平洲先生の略歴

細井平洲先生は、享保13年（1728年）6月28日、尾張国知多郡平島村（現愛知県東海市荒尾町）の農家の二男に生まれた。隣村加家村^{かけ}の観音寺の寺子屋で学んだ後、名古屋、京都へ出て学んだ。その後、名古屋の中西淡淵先生^{たんえん}について学び、その勧めで18歳で長崎へ行き、清国人に交わって中国語を学んだ。24歳の時、江戸に出て私塾嚶鳴館を開き、諸国の多くの人材を育てるとともに、西条、人吉、紀伊、郡山藩などの諸藩の師に迎えられ、明和元年（1764年）、米沢藩の世継上杉治憲公^{はるのり}の師となった。治憲公（号・鷹山^{ようざん}）は、生涯にわたって教えを受けて藩政改革を行い、名君としてたたえられた。

安永9年（1780年）には尾張藩主徳川宗睦公^{むねちか}の侍講^{じこう}に迎えられた。そして藩校明倫堂の創設にあたって督学^{とくがく}に任ぜられ、大いに藩学を振興すると共に、広く藩内各地で講釈を行い庶民教育にも努めた。

享和元年（1801年）6月29日没。墓は東京都台東区^{てんがくいん}の天獄院にあり、都の旧跡に指定されている。学問上の業績は、治憲公が編さんを命じた「嚶鳴館遺稿」10巻にまとめられている。



平洲記念館・展示室

オ 嚶鳴広場（芸術劇場 2 階）

童門冬二氏（1927-2024 平洲記念館名誉館長兼嚶鳴広場顧問）の著作や解説を基に、細井平洲先生をはじめとした全国各地の先人について、楽しく学べる広場である。展示スペースやデジタルサイネージを備えており、併設されたカフェスペースは、打ち合わせや読書等に利用できる。平洲記念館の収蔵資料等、各種展示、講座等も行う。

また、東海市の呼びかけで始まった「嚶鳴協議会」の全国への情報発信の拠点としても位置付けられている。

利用案内

㊦ 開館時間 9：00～22：00

㊧ 休館日 第3月曜日（第3月曜日休日に当たるときは、その日後の休日でない日）
1月1日～1月3日及び12月29日～12月31日

各種企画展示内容

事業名	時期	内容
特別展示	年2回	嚶鳴協議会加盟自治体の先人や嚶鳴広場の趣旨に沿う展示を行う。
企画展示	年2回	細井平洲先生をはじめ本市や知多半島に縁のある先人の展示を行う。



嚶鳴広場（童門先生と怒の心）



へいしゅうくん等ぬり絵作品展（特別展示）

嚶鳴協議会加盟自治体の先人キャラクター等のぬり絵を募集し、作品として展示



童門冬二展
（追悼特別展示）



東海市のひなまつり
（企画展示）

嚶鳴協議会とは？

嚶鳴協議会は、ふるさとの先人を地域づくりに活かす全国の自治体が集まった協議会で、平成19年に東海市の呼びかけで始まったもの。

「仲間が集まって共に教えあい、学び合う」という細井平洲先生の「嚶鳴」の教えのとおり、嚶鳴フォーラムをはじめさまざまな交流・連携事業や情報交換を実施。作家の童門冬二氏（2019-2024）を名誉会長、東洋大学名誉教授の吉田公平氏を顧問に迎え、統括事務局は東海市に置かれ、東海市芸術劇場の嚶鳴広場を情報発信や活動の拠点として利用している。

【嚶鳴協議会参加自治体（市町村名50音順）】

恵那市（岐阜県）、大野町（岐阜県）、沖縄市（沖縄県）、小田原市（神奈川県）、
釜石市（岩手県）、木曽町（長野県）、高鍋町（宮崎県）、多久市（佐賀県）、
東海市（愛知県）、養父市（兵庫県）、米沢市（山形県）

2 青少年育成センター

青少年育成センターは、青少年センターの廃止に伴い、令和2年度より、まなぶん横須賀3階（教員研修センター内）へ機能移転した。青少年の非行の予防と健全育成に向けて青少年の問題行動や不審者情報の把握、学校等への支援活動、地域での啓発活動等に努めている。

なお、現在も旧青少年センター同様に元警察官が少年指導員として、また元教員が教育相談員として配置され、豊富な知識や経験を生かし、活動体制を強化している。

(1) 主な事業(6月補正予算議決後)

事業名 令和7年度事業費(千円)	内容
青少年育成センター 設置事業	地域、学校及び警察等との連携を図り、青少年の非行の予防と健全育成を目指した各種事業を展開する。 ＜街頭パトロール活動の推進・支援＞ 教育委員会が委嘱した青少年育成員が、地域の青少年の非行の予防及び健全育成のための街頭パトロール活動の推進・支援を行う。 ＜青色防犯パトロール＞ 少年指導員が、不審者・変質者の情報や地域・学校等から情報を収集し、それらを基に周辺地域を巡回する。 ＜非行防止教室等の企画・推進＞ 少年指導員と担任が協力し、合同で情報モラル教室や万引き防止教室を行い、児童が抱える問題の即効的な解決を図る。 ＜情報の収集・分析及び発信＞ 東海警察署からの情報を基に作成した少年非行統計や不審者・変質者情報を学校や地域と共有し注意喚起を行う。 ＜教育相談＞ 教育相談員がお助け訪問をとおして、教員の生徒指導上の悩みに助言する。また、教育相談員と少年指導員が、児童生徒への直接指導や保護者からの相談にも対応する。 ＜各種の青少年健全育成啓発活動＞ 社会を明るくする運動や夏の非行防止キャンペーン等の青少年健全育成に関する活動に取り組む。
6,120	事業開始 昭和48年度
青少年居場所づくり 推進事業	社会性のある大人への人間形成を図るため、良好な対人関係づくり等をめざし、青少年に対し、身体的・精神的拠所となる居場所を提供する。 ＜ふれあい活動＞ 大人と子どもたちのよりよい関係づくりの機会としてボウリング、ボウリング等を実施する。
438	事業開始 平成16年度

(2) 青少年育成センター運営協議会

ア 構成 教育関係者、民生関係者及び警察関係者等14人以内で構成する。

イ 内容 青少年育成センターの運営上必要な事項に関する協議を行う。

ウ 会議回数 年3回

(3) 業務案内

ア 場所 東海市養父町北反田41

まなぶん横須賀3階

電話 0562-32-5400

FAX 0562-32-9521

イ 業務日時 月曜日～金曜日

8:30～17:15

※ 土日祝日、年末年始を除く



青色防犯パトロール

3 図書館

図書館は、市民が気軽に学習できる機会を提供する最も身近な施設として、市民の幅広い学習要求に応えることができるよう図書や視聴覚資料の内容の充実に努めている。また、横須賀図書館、ネットワーク施設（上野公民館・芸術劇場・緑陽コミュニティセンター・富木島公民館・加木屋市民館・加木屋南市民館）、配本所（上野公民館・日本福祉大学付属図書館東海分館）のほか、電子書籍を整備し、利便性の向上を図っている。

(1) 主な事業(6月補正予算議決後)

事業名 令和7年度事業費(千円)	内容
読書感想文コンクール 開催事業	よい書物を選び、読みこなす習慣を身に付けてもらうとともに、読書の質を高めることを目的として読書感想文コンクールを開催する。 時 期 7月～11月 対 象 小・中学生（小・中学生の部） 中学校卒業以上（一般の部）
307	事業開始 昭和45年度
お話友の会開催事業	ことばの発達を促し、本好きの子どもを育てるため、幼児・低学年の子どもに絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。 開 催 日 毎月第2・第4土曜日、毎週日曜日 対 象 幼児、小学生
23	事業開始 昭和52年度
読み聞かせボランティア 講座開催事業	図書館をはじめ、小学校や児童館等で行われている読み聞かせ活動の活性化を図るため、読み聞かせに関する初心者向け講座を開催する。 回 数 1講座（2日間） 対 象 中学生以上
34	事業開始 平成14年度
子ども文庫（小学校） 事業	小学校の読書環境の充実を図るため、小学生に薦めたい本をセットした「わくわく文庫」を書籍消毒機によるクリーニングをして巡回させるとともに、読み聞かせや本の修理講座など学校が求める支援を行う。 対 象 小学生
7,966	事業開始 平成24年度
子ども司書体験講座開 催事業	子どもたちに図書館をより身近に感じてもらい、読書意欲の向上を図るため、図書館利用のマナー、本の分類・整理方法を学び、窓口業務等を体験してもらう。 時 期 6月～7月 対 象 小学4～6年生
481	事業開始 平成23年度
日本福祉大学図書館連 携事業	日本福祉大学東海キャンパス図書館と連携し、一般市民向けの図書・雑誌を大学図書館に設置し、市民に大学を身近に感じてもらうとともに、読書に親しむ機会を増やし、生涯学習の機会を提供する。 対 象 市民
423	事業開始 平成27年度
電子書籍等サービス事 業	障がい者や高齢者など、来館することが難しいことで図書館を利用しづらい市民の読書環境充実のため、市民が読書を楽しみながら学ぶ環境を充実させる。 対 象 市民
22,688	事業開始 令和7年度

(2) 施設利用案内

中央図書館 	横須賀図書館 
開館時間 9 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0 休 館 日 月曜日（月曜日が休日に当たるときは、その日後の休日でない日） 7月21日～8月31日の期間の月曜日は開館、1月1日～1月3日及び12月29日～12月31日、特別図書整理期間	開館時間 9 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0 休 館 日 中央図書館に準じる（特別図書整理期間は除く） 会議室の利用 大会議室（定員60人） 小会議室（定員36人）

ア 貸出要件

県内に住所を有する者、市内の学校に在学する者、市内の事業所等に勤務する者。貸出に必要な利用者カードの有効期限は、交付を受けた日から起算して3年。

イ 貸出数及び貸出期間

(ア) 個人貸出

中央図書館・横須賀図書館の合計で図書、視聴覚資料合わせて1人20点まで。ただし、DVD・ビデオはうち5点までとし、貸出期間は15日以内

(イ) 団体貸出

東海市、半田市、常滑市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町又は武豊町の読書会等の団体に対して貸出。DVD・ビデオを除く資料100点までとし、貸出期間は30日以内

ウ 資料の複写

図書館所蔵の資料に限り、著作権法の認める範囲内で、複写サービスを利用可能（写しの交付手数料 1枚につき10円）

エ ネットワーク施設の利用

(ア) 貸出

図書館所蔵の本・雑誌をインターネット・電話等で予約し、受取可能

(イ) 返却

図書館で借りた本・雑誌を返却可能

オ AVブースの利用

中央図書館では所蔵の視聴覚資料（CD・DVD・ビデオ）を視聴可能

カ 電子書籍の利用

市内に住所を有し、かつ有効な利用者カードを有する者が利用可能。貸出点数は1人3点までとし、貸出期間は15日以内

キ その他

開館時間外及び休館日は、玄関横の返却口を利用して返却可能

中央図書館・横須賀図書館の両館で利用登録・貸出・返却・予約可能

4 芸術劇場

コンセプト：「未来をひらく文化創造拠点～文化がひとをつくり、ひとが文化を創る～」
理念：「ひとづくり」「にぎわいづくり」「生きがいづくり」

令和7年度に開館10周年を迎える芸術劇場は、平成27年10月4日に開館して以来、本市の文化創造拠点として、大ホール、多目的ホールをはじめ、ギャラリー、練習室など各用途に適した部屋と気軽にくつろげるフリースペースを備え、利用者が文化芸術を身近に感じ、文化芸術を通じて交流ができる空間づくりを行っている。

また、施設の理念を実践するため、「公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団」及び「吉本興業株式会社」と「東海市ひとづくりパートナーシップ協定」を結び、市と両団体の双方が互いの利点を活かし、連携することで、市民に質の高い文化芸術を鑑賞する機会を提供し、さらには文化芸術活動とおしてのひとづくりや地域活性化に取り組んでいる。



芸術劇場

(1) 主な事業(6月補正予算議決後) ※芸術劇場自主文化事業の詳細はP.58資料編参照

事業名 令和7年度事業費(千円)	内容
芸術劇場自主文化(鑑賞・にぎわい)事業 122,183	文化芸術の普及及び振興を図るため、キーウ・グランド・バレエ・シアター「眠れる森の美女」～全幕～公演や開館10周年記念企画として歌劇「蝶々夫人」など、優れた文化・芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、東海市紅白歌合戦や、TOKAI ROCK FES. など、劇場から市内のにぎわいを創出する公演を実施する。 事業開始 平成27年度
芸術劇場自主文化(ひとづくり)事業 53,399	文化芸術によるひとづくりを実践するため、市立保育園や小学校、福祉施設等へのアウトリーチ事業による文化芸術との新しい出会いの提供や「東海市子どものオーケストラ」を始めとした団体を組織し、より高度な文化芸術の創造活動にチャレンジできる環境を形成する。 また、開館10周年記念事業として、東海市子どものオーケストラ第7回定期演奏会&劇場開館10周年記念SPや東海児童合唱団第25回定期演奏会などを実施する。 事業開始 平成27年度
市民スタッフ育成事業 344	芸術劇場来場者が安心して快適に利用できるように、芸術劇場が実施する事業運営に参加する市民スタッフに対し、研修を実施する。 事業開始 平成27年度
芸術劇場管理運営経費 328,151	芸術劇場の管理運営を行う。



東海市子どものオーケストラ



東海市民合唱団

(2) 東海市子どものオーケストラ育成基金

オーケストラとしての活動の幅を広げ、次代を担う子どもたちの可能性をさらに広げていくため、市民や企業などからの支援を平成30年度から募集している。

募集区分		グランド サポーター	フレンド サポーター	カインド サポーター	オープン サポーター
金 額	個 人	3 万円以上	1 万円以上 3 万円未満	5 千円以上 1 万円未満	制限なし
	法人等	5 0 万円以上	3 0 万円以上 5 0 万円未満	1 0 万円以上 3 0 万円未満	
寄附に対する お礼		・ 定期演奏会への招待（招待は年 1 回限り）			なし
		2 名		1 名	
		・ ホームページ、プログラム等で氏(社)名の公表 ・ 子どものオーケストラ出演情報の提供			

(3) 施設利用案内

ア 開館時間

9:00～22:00

（施設利用申込み・使用料支払い受付時間は9:00～20:00）

イ 休館日

第3月曜日（第3月曜日が休日に当たるときは、その日後の休日でない日）

1月1日～1月3日及び12月29日～12月31日

	フロア概要
5階	大ホール(2階客席)
4階	大ホール(1階客席、定員:1,025人)、ホワイエ、大練習室、中練習室(2室)、小練習室、和室、パフォーマンス室、バンドスタジオ(2室)、美術室、ギャラリー、キッズルーム
3階	大ホール(舞台)、楽屋(7室)、リハーサル室、ミーティング室2、アートライブラリー、劇場事務室
2階	囃鳴広場、会議室、楽屋
1階	多目的ホール(定員:274人)、楽屋(2室)、交流広場、ワークショップ室、ミーティング室1
地下	施設駐車場:140台

ウ ユウナルフレンドメンバーズ(友の会制度) ※自主文化事業のうち指定事業のみ適用

プラチナ会員：年会費1,000円

（特典）チケット先行販売、チケット料金の割引、機関紙送付、
メールマガジンの配信、Webチケット購入、電子チケット利用

ユウナル会員：会費無料

（特典）メールマガジンの配信、Webチケット購入、電子チケット利用



東海児童合唱団



東海市ダンスチームM i a k o t

5 スポーツ

自ら身体を動かして行う「する」スポーツ、観戦する「みる」スポーツ、指導者やファンとして関わる「ささえる」スポーツなど、多面的にスポーツに関わる人を増やし、市民の心身の健康を高めるとともに、スポーツをとおして人と人との交流を深め、地域の一体感や活力あるまちづくりにつなげるため、東海市スポーツ推進計画に基づき、各種事業を推進する。

(1) 主な事業(6月補正予算議決後)

事業名 令和7年度事業費 (千円)	内容
スポーツ推進委員会設置事業 8,670	24名の委員が各地域スポーツ活動を推進するとともに、各種スポーツの大会運営など、幅広い活動を行う。また、他団体との連携によるスポーツイベント等に協力・支援を行い、スポーツの振興並びに市民の健康増進を図る。 事業開始 昭和50年度
総合型地域スポーツクラブ補助事業 25,000	(一社)スポーツクラブ東海の活動に対する補助を行うことで、市民のスポーツ振興並びに健康増進を図る。 事業開始 平成25年度
東海ハーフマラソン開催補助事業 30,000	冬の一大イベントとして、ハーフマラソン大会に要する経費に対して補助を行うことで、市民のスポーツ振興・健康づくり及びスポーツによる交流人口の拡大を図る。 開催日 12月14日 場 所 太田川駅周辺～市内 事業開始 令和元年度
愛知万博記念市町村対抗駅伝大会派遣事業 1,796	愛知万博メモリアル第18回愛知県市町村対抗駅伝競走大会に出場するため、本市代表選手の選考、練習会、強化合宿などを実施する。 開催日 12月6日 場 所 愛・地球博記念公園 対 象 市内在住者 事業開始 平成18年度
姉妹都市スポーツ交流事業(国内) 2,740	姉妹・友好都市と親しみやすいスポーツを通じて、お互いの市民や児童・生徒の交流により、親睦を深める。 時 期 8月上旬 場 所 市民体育館 事業開始 平成18年度
シニア健康スポーツフェスティバル開催事業 142	各種スポーツ大会、ウォーキングイベント、体操教室等を高齢者対象に実施し、健康増進及び生きがいの促進を図る。 開催日 9月～11月 場 所 市内各運動施設 事業開始 平成21年度
ふるさと大使等スポーツ連携交流事業 2,555	東海市ふるさと大使等である企業スポーツチーム等と連携し、一流スポーツ選手の試合観戦やスポーツ教室を開催するとともに、ふるさと大使である選手と市民の交流事業を実施する。 事業開始 平成28年度
第20回アジア競技大会開催支援事業 5,000	第20回アジア競技大会カバディ種目の開催に伴い、機運を高め、受け入れに向けて準備する。 事業開始 令和6年度
スポーツ推進会議設置事業 140	スポーツ関係団体等で構成する推進会議を設置し、東海市スポーツ推進計画の施策及び事業を推進する。 委員数 10人 開催回数 年2回 事業開始 令和4年度

事業名 令和7年度事業費（千円）	内容
学校部活動地域移行推進補助事業	部活動の地域移行先として位置付けている、一般社団法人スポーツクラブ東海が行う「ジュニアクラブ事業」に補助することで、部活動に代わる継続的に質の高い多様なスポーツ活動に参加できるようにする。 事業開始 令和6年度
10,000	
ちびっこ相撲開催事業	鍛山部屋が名古屋場所の期間に勤労センターに在中しており、横須賀町の愛宕神社にて稽古を行っている。そうした機械、機運を捉え、相撲を通してスポーツ振興を図るため、鍛山部屋の協力を得て、ちびっこ相撲を実施するもの。 時 期 6月29日 場 所 愛宕神社 対 象 市内小学生
200	
第20回アジア競技大会市民体育館整備事業	2026年開催の第20回アジア競技大会についてカバディの競技会場として東海市民体育館が仮決定したことに伴い、開催に向けた市民体育館の環境を整備するもの。 場 所 市民体育館
162,386	
市民体育館吊物機構設備改修事業	メインアリーナの吊物機構設備の更新及び撤去と設置後30年以上経過し、経年劣化している制御盤を改修するもの。 （過去の吊物機構設備落下事故：平成23年（2011年）12月）また、サブアリーナの吊物機構設備を撤去するもの。 場 所 市民体育館
54,320	
市民体育館倉庫外壁等改修事業	設置後30年以上が経過しており、設備が老朽化していることから、外壁改修及び屋上防水工事を行うもの。 場 所 市民体育館
13,330	
市民体育館自動火災報知設備改修事業	自動火災報知設備の耐用年数が経過し受信機を更新するための取替工事を行うもの。 場 所 市民体育館
19,470	
市民体育館天井ルーバー改修事業	メインアリーナの天井ルーバーが老朽化により開閉に不備があることから、それを塞ぐために改修するもの。 場 所 市民体育館
22,820	

(2) 施設利用案内

ア 市民体育館

- (ア) 開館時間 9:00～22:00
 (イ) 休館日 毎月の第1月曜日（その日が休日に当たるときは、その日後の休日でない日）1月1日～1月3日及び12月29日～12月31日

(ウ) 概要

1 F	メインアリーナ	59.5m×39.1m（有効）
	（主競技場）	バスケット・バレーボール・テニス各3面、 ハンドボール1面・卓球24面・バドミントン12面 照明設備（LED）・舞台照明設備・舞台音響設備・ 冷暖房設備・床面（タラフレックス）
	サブアリーナ	34.0m×20.5m（有効）
	（副競技場）	バスケット・バレーボール・テニス各1面・ バドミントン4面・卓球9面・冷暖房設備・ 照明設備（LED）・床面（タラフレックス）
	剣道場	16.0m×39.5m 3面・冷暖房設備
	トレーニング室	14.5m×12.5m・6.0m×12.5m・ 冷暖房設備
	役員室	定員20人・冷暖房設備
2 F	柔道場	16.0m×33.0m 2面（256畳）・ 冷暖房設備
	弓道場	16.0m×39.0m 6人立
	会議室	11.0m×17.5m 定員100人（3分割可能）・冷暖房設備・視聴覚設備
	観客席	固定席1,270席

イ 運動公園

(ア) 加木屋運動公園

※5市5町とは、東海市、半田市、常滑市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町及び武豊町をいう。

区分	加木屋球場	加木屋テニスコート
利用日	1月4日～12月28日	
利用時間	7:00～17:00（5月1日～10月31日は21:00まで）	7:00～17:00（3月1日～12月28日は21:00まで）
申込期間	利用する28日前～5日前	
申込場所	加木屋運動公園（電話 0562-35-0678）	
利用対象者	5市5町（※）の在住、在勤、在学者	

(イ) 元浜スポーツ広場

区分	元浜港ゲートボール場	元浜テニスコート	元浜サッカー場	元浜パターゴルフ場
利用日	1月4日～12月28日			
利用時間	7:00～17:00 （5月1日～10月31日は19:00まで）	7:00～21:00	9:00～17:00 （4月1日～9月30日は18:00まで）	
申込期間	利用する日の28日前～5日前			利用日に直接施設へ
申込場所	元浜スポーツ広場（電話 0562-32-6865）			
利用対象者	5市5町（※）の在住、在勤、在学者			

(ウ) 荒尾スポーツ広場

区 分	荒尾グラウンド・ゴルフ場
利 用 日	1月4日～12月28日
利 用 時 間	7:00～17:00 (5月1日～10月31日は19:00まで)
申 込 場 所	利用日に直接施設へ
利 用 対 象 者	5市5町(※)の在住、在勤、在学者

ウ 学校体育施設のスポーツ開放

(ア) 体育館・武道場・運動場

区 分	市内小学校運動場	市内小中学校体育館 武道場(平洲中、富木島中、横須賀中、加木屋中)
開 放 期 間	1月4日～12月28日 (土・日・祝のみ)	1月4日～12月28日
利 用 時 間	7:00～17:00 (2時間単位の利用)	<小学校> ・月～金 18:00～21:00 ・土・日・祝日 9:00～21:00 <中学校> ・月～日 18:00～21:00 ※各学校で利用時間を定める
空 調		<中学校> ・7月～9月(夏季期間)
申 込 期 間	3月に申請(年間)	3月・9月に申請
申 込 場 所	スポーツ課(市役所6階)	
利 用 対 象 者	市内在住、在勤、在学者で構成された10人以上の団体で、あらかじめ教育委員会に登録したアマチュアスポーツ団体	

(イ) 夜間照明

区 分	横須賀中学校 運動場
利 用 日	1月4日～12月28日
利 用 時 間	18:00～21:00
申 込 期 間	利用日の6月前の月の1日から3営業日前
申 込 場 所	スポーツ課(市役所6階)
利 用 対 象 者	市内在住、在勤、在学者で構成された10人以上の団体で、あらかじめ教育委員会に登録したアマチュアスポーツ団体



市民体育館



元浜サッカー場



加木屋球場



加木屋テニスコート

Ⅳ 資料編

1 小中学校児童生徒数、学級数等の状況

小学校

(令和7年5月1日現在)

(単位:人)

学校名	区 分	計	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支 援学級	教員	栄養 教諭	事務 職員	用務 員
緑 陽 小 学 校	児童数	422	41	57	78	75	71	73	27	29	-	1	-
	学級数	22	2	2	3	3	3	3	6				
名 和 小 学 校	児童数	758	101	109	119	132	112	146	39	40	-	2	-
	学級数	30	3	4	4	4	4	5	6				
渡 内 小 学 校	児童数	402	70	69	53	73	74	53	10	23	-	1	-
	学級数	16	2	2	2	3	3	2	2				
平 洲 小 学 校	児童数	777	112	113	127	140	112	136	37	41	-	2	-
	学級数	31	4	4	4	4	4	4	7				
明 倫 小 学 校	児童数	219	28	34	35	40	33	32	17	19	1	1	-
	学級数	11	1	1	1	2	1	1	4				
富木島 小 学 校	児童数	567	77	78	101	94	98	91	28	30	-	1	-
	学級数	24	3	3	3	3	3	3	6				
船 島 小 学 校	児童数	299	36	42	46	56	46	56	17	23	-	1	-
	学級数	15	2	2	2	2	2	2	3				
大 田 小 学 校	児童数	521	75	93	75	85	88	74	31	31	-	1	-
	学級数	23	3	3	3	3	3	3	5				
横須賀 小 学 校	児童数	686	96	103	107	108	120	108	44	39	-	2	-
	学級数	29	3	3	4	4	4	4	7				
加木屋 小 学 校	児童数	687	111	110	125	99	120	97	25	35	1	2	-
	学級数	29	4	4	4	3	4	3	7				
三ッ池 小 学 校	児童数	328	55	46	45	61	55	50	16	23	-	1	-
	学級数	16	2	2	2	2	2	2	4				
加木屋南 小 学 校	児童数	769	100	119	113	114	142	149	32	39	1	2	-
	学級数	32	3	4	4	4	5	5	7				
計	児童数	6,435	902	973	1,024	1,077	1,071	1,065	323	372	3	17	0
	学級数	278	32	34	36	37	38	37	64				

※栄養教諭の欄には学校栄養職員を含む

※人数は学校基本調査による

中学校

(令和7年5月1日現在)

学校名	区 分	計	1 年	2 年	3 年	特別支 援学級	教員	栄養教 諭	事務職 員	用務 員
名 和 中 学 校	生徒数	444	138	143	149	14	28	-	1	1
	学級数	14	4	4	4	2				
上 野 中 学 校	生徒数	465	136	177	139	13	31	-	1	-
	学級数	16	4	5	4	3				
平 洲 中 学 校	生徒数	426	119	143	145	19	29	1	1	-
	学級数	16	4	4	4	4				
富木島 中 学 校	生徒数	664	205	230	202	27	42	-	2	-
	学級数	23	6	6	6	5				
横須賀 中 学 校	生徒数	739	241	237	243	18	42	-	2	-
	学級数	23	7	6	7	3				
加木屋 中 学 校	生徒数	688	204	249	216	19	43	1	2	-
	学級数	24	6	7	6	5				
計	生徒数	3,426	1,043	1,179	1,094	110	215	2	9	1
	学級数	116	31	32	31	22				

※栄養教諭の欄には学校栄養職員を含む

※人数は学校基本調査による

2 小中学校施設の状況

小学校

(令和7年5月1日現在)

区分 学校名	教室数										建物面積 (㎡)				プールの有無	夜間照明の有無	敷地面積 (㎡)	左のうち屋外運動場 (㎡)
	普通教室	理科	生活	音楽	図工	家庭	視聴覚	図書	特別活動	計	校舎	屋内運動場	倉庫及び屋外便所等	計				
緑陽小学校	22	2	1	2	1	1	-	2	8	39	6,416	1,090	322	7,828	有	無	24,481	11,861
名和小学校	30	1	1	2	1	2	-	2	2	41	5,889	1,128	346	7,363	有	無	30,841	8,489
渡内小学校	16	2	-	2	1	1	1	2	6	31	5,552	1,196	305	7,053	有	無	23,388	8,966
平洲小学校	31	1	-	2	1	1	-	2	7	45	6,291	1,117	474	7,882	有	無	24,861	9,987
明倫小学校	11	2	-	2	1	2	1	2	15	36	6,324	1,003	236	7,563	有	無	32,287	14,298
富木島小学校	24	2	-	2	2	2	-	2	10	44	6,902	1,015	246	8,163	有	無	26,119	8,507
船島小学校	15	1	-	1	1	1	-	2	4	25	4,587	1,128	165	5,880	無	無	27,018	13,400
大田小学校	23	1	1	2	1	2	-	2	7	39	6,205	1,105	111	7,421	無	無	24,395	13,549
横須賀小学校	29	2	1	2	2	2	1	2	12	53	9,418	1,462	427	11,307	有	無	34,506	13,625
加木屋小学校	29	1	-	1	1	2	1	2	5	42	7,431	1,681	112	9,224	有	無	20,504	7,188
三ツ池小学校	16	1	-	1	1	1	1	2	3	26	4,607	1,237	349	6,193	有	無	28,944	9,577
加木屋南小学校	32	1	-	2	1	1	-	2	4	43	6,690	1,474	296	8,460	有	無	27,764	11,182
計	278	17	4	21	14	18	5	24	83	464	76,312	14,636	3,389	94,337	10	-	325,108	130,629

(注) 名和小学校敷地面積は、借地面積 (26,406.49㎡) を含む。

中学校

(令和7年5月1日現在)

区分 学校名	教室数										建物面積 (㎡)				プールの有無	夜間照明の有無	敷地面積 (㎡)	左のうち屋外運動場 (㎡)
	普通教室	理科	音楽	美術	技術	家庭	視聴覚	図書	特別活動	計	校舎	屋内運動場	クラブ室、倉庫及び屋外便所等	計				
名和中学校	14	2	2	2	3	2	1	2	8	36	6,877	1,871(477)	436	9,184	有	有	35,549	15,724
上野中学校	16	2	2	2	1	2	-	1	11	37	7,596	2,070(410)	407	10,073	有	無	32,798	11,892
平洲中学校	16	2	2	1	3	2	-	1	8	35	6,237	2,206(477)	124	8,567	無	無	29,006	13,039
富木島中学校	23	2	2	1	2	2	-	1	10	43	8,132	2,135(445)	561	10,828	有	有	35,293	13,540
横須賀中学校	23	3	2	2	1	3	1	1	7	43	9,649	1,921(408)	433	12,003	有	有	54,362	30,285
加木屋中学校	24	3	3	2	4	5	-	1	2	44	8,879	2,091(447)	277	11,247	有	無	38,116	14,056
計	116	14	13	10	14	16	2	7	46	238	47,370	12,294(2,664)	2,238	61,902	5	3	225,124	98,536

(注) () 内書きは、柔剣道場面積

平洲中学校クラブ室 (444㎡) は屋内運動場に、加木屋中学校クラブ室 (128㎡) は校舎に併設

3 教育費保護者負担軽減対策

(令和7年5月1日現在)

項 目		開始年度	市費負担割合
1	日本スポーツ振興センター負担金（小・中全学年 1人935円）	昭和45年度 昭和46年度	半額負担 全額負担
2	道徳副読本 （「明るい心」小全学年1人450円、「明るい人生」中全学年1人450円）	昭和45年度	全額負担
3	各種大会出場費補助（郡大会以上）	昭和44年度	全額負担
4	修学旅行費等補助 （小6年 1人3,000円、中3年 1人10,600円）	昭和44年度 令和元年度	一部負担
5	林間学習費（小5年 1人6,992円）	昭和45年度 昭和47年度	一部負担 全額負担
6	沖縄体験学習費（中2年 1人83,486円）	平成20年度	全額負担
7	郷土読本（「東海」中1年用 1人924円）	昭和45年度	全額負担
8	知能テスト（小2・4・6年、中1・3年 1人491円）	昭和47年度	全額負担
9	知多の友（小・中全学年 1人472円）	昭和48年度	全額負担
10	だいすき大愛知 （小4・5・6年用 1人650円）	昭和48年度	全額負担
11	中学校体育実技（中1年 1人850円）	昭和48年度	全額負担
12	中学生生活と進路（中全学年 1人600円）	昭和48年度	全額負担
13	尿検査手数料（小・中全学年 1人231円）	昭和49年度	全額負担
14	心電図検査手数料（小1・4年、中1年 1人1,760円）	昭和49年度	全額負担
15	学力テスト（小2～5年 1人781円 小6年 1人1,172円 中全学年 1人1,953円）	昭和49年度	全額負担
16	性格テスト（小4年 1人511円、中全学年 1人481円）	昭和50年度	全額負担
17	夏休みの友（小全学年 1人442円）	昭和52年度	全額負担
18	平洲読本 （小1～4年用 1人400円、小5～中3年用 1人530円）	昭和55年度	全額負担
19	貧血検査（中1年 1人550円）	平成21年度	全額負担
20	観察と実験 （小3年～小6年 1人400円、中1年～中3年 1人400円）	平成25年度	全額負担

※金額については全て消費税込み

4 給食配食数等

(令和7年4月現在)

区分	明倫調理場		加木屋調理場	
調理能力	5, 000食/日		7, 500食/日	
	小学校	中学校	小学校	中学校
配食校及び配食数	食	食	食	食
小学校 12校 6,929食	緑陽小 458 名和小 810 渡内小 426 明倫小 243 富木島小 609	名和中 474 上野中 499 平洲中 463 3校 1,436	平洲小 832 船島小 330 大田小 562 横須賀小 736 加木屋小 738	富木島中 715 横須賀中 797 加木屋中 740 3校 2,252
中学校 6校 3,688食		その他	三ツ池小 361	その他
調理場 2箇所 74食	5校 2,546	調理場 33	加木屋南小 824 7校 4,383	調理場 41
合 計 18校 10,691食	8校	4,015食	10校	6,676食
主な機械設備	煮炊釜 連続揚げ物機 食缶等洗浄機 食器洗浄機 真空食品冷却機 消毒保管庫 スチームコンベクションオーブン			

5 市内指定文化財・収蔵資料数

市内指定文化財

区 分	種 別	名 称	員 数	所 在 地	所有者等
国指定	建造物	観福寺本堂内宮殿	1 基	大田町天神下ノ上 5	観福寺
〃	工芸品	刀銘出羽大掾藤原國路	1 口	荒尾町	個人
県指定	建造物	観福寺本堂	1 棟	大田町天神下ノ上 5	観福寺
〃	彫刻	十一面観音菩薩立像	1 軀	大田町天神下ノ上 5	〃
市指定	建造物	宝珠寺観音堂	1 棟	富木島町貴船 1 2	宝珠寺
〃	〃	聚楽園大仏及び仁王像	3 基	荒尾町西丸山 4 7 - 3	大仏寺
〃	絵画	十六羅漢図	16 幅	大田町畑間 1 7 5	常蓮寺
〃	〃	涅槃図	1 幅	〃	〃
〃	〃	毘沙門天図	1 幅	大田町天神下ノ上 5	観福寺
〃	〃	不動明王図	1 幅	〃	〃
〃	〃	不動明王図	1 幅	〃	〃
〃	〃	愛染明王図	1 幅	〃	〃
〃	〃	釈迦三尊図	1 幅	〃	〃
〃	〃	釈迦十六善神図	1 幅	〃	〃
〃	〃	北斗曼荼羅図	1 幅	〃	〃
〃	〃	涅槃図	1 幅	〃	〃
〃	〃	両界曼荼羅図	2 幅	〃	〃
〃	〃	三千仏図	3 幅	〃	〃
〃	〃	蓮華水禽図	1 幅	加木屋町西御門 2 3	普濟寺
〃	〃	出山釈迦如来画像	1 幅	〃	〃
〃	〃	寒山拾得画像	2 幅	〃	〃
〃	〃	阿弥陀如来画像	1 幅	富木島町貴船 1 2	宝珠寺
〃	〃	釈迦十六善神画像	1 幅	〃	〃
〃	〃	阿弥陀如来像	1 幅	名和町北脇 2 0	妙法寺
〃	彫刻	聖観音立像	1 軀	富木島町貴船 1 2	宝珠寺
〃	〃	聖観音立像	1 軀	荒尾町東川 5	正音寺
〃	〃	聖観音立像	1 軀	荒尾町西川 6 0	清水寺
〃	〃	聖観音立像	1 軀	荒尾町仏供田 4 5	観音寺
〃	〃	薬師如来坐像	1 軀	大田町上前田 2	太光寺
〃	〃	弥勒菩薩坐像	1 軀	大田町寺下 4	弥勒寺
〃	〃	毘沙門天立像	1 軀	大田町の場 7 8	毘沙門寺
〃	〃	在原業平坐像	1 軀	富木島町貴船 1 2	宝珠寺
〃	〃	毘沙門天立像	1 軀	大田町天神下ノ上 5	観福寺
〃	〃	不動明王立像	1 軀	〃	〃
〃	〃	毘沙門天立像	1 軀	加木屋町愛敬 6 9	天王寺
〃	〃	金剛力士立像	2 軀	大田町寺下 4	弥勒寺
〃	工芸品	五輪塔（業平塚）	7 基	富木島町外面 2 6	東海市
〃	〃	宝篋印塔	3 基	荒尾町西屋敷 8 9	運得寺
〃	〃	宝篋印塔	1 基	〃	〃
〃	〃	在原業平位牌	1 基	富木島町貴船 1 2	宝珠寺
〃	〃	鰐口	1 口	大田町天神下ノ上 5	観福寺
〃	〃	梵鐘	1 口	高横須賀町山屋敷 1 5	長源寺
〃	古文書	法要決疑論	1 卷	加木屋町西御門 2 3	普濟寺
〃	〃	村方調宝記	1 卷	荒尾町蜂ヶ尻（平洲記念館）	個人
〃	歴史資料	嚶鳴館遺草版木	113 枚	荒尾町蜂ヶ尻（平洲記念館）	東海市

区 分	種 別	名 称	員 数	所 在 地	所有者等
市指定	歴史資料	細井平洲寄進の石灯籠	1 基	荒尾町御幣土 2 1	八柱神社
〃	有形民俗文化財	本町組山車	1 台	横須賀町狐塚 1 5 - 1	横須賀祭り保存会
〃	〃	北町組山車	1 台	横須賀町四ノ割 8 6	〃
〃	〃	大門組山車	1 台	横須賀町二ノ割 8 3 - 1	〃
〃	〃	圓通組山車	1 台	横須賀町三ノ割 7 0 - 2	〃
〃	〃	八公組山車	1 台	横須賀町三ノ割 2 9	〃
〃	〃	黒口組山車	1 台	大田町蟹田 1 1 2	大田まつり保存会
〃	〃	市場組山車	1 台	大田町郷中 1 1 7 - 2	〃
〃	〃	里組山車	1 台	大田町東畑 1 - 1	〃
〃	〃	荒古組山車	1 台	大田町上浜田 2 0 0	〃
〃	〃	法衣	2 点	加木屋町西御門 2 3	普済寺
〃	〃	獅子屋形	1 台	高横須賀町北屋敷 5 9	諏訪神社
〃	無形民俗文化財	御殿万歳		加木屋町	万歳保存会
〃	〃	大田まつりの山車行事		大田町	大田まつり保存会
〃	〃	尾張横須賀まつりの山車行事		横須賀町	横須賀祭り保存会
〃	史跡	名和古墳群	3 基	名和町三ツ屋	氷上姉子神社
〃	〃	カブト山古墳跡		名和町欠下	個人
〃	〃	丸根古墳跡		荒尾町丸根	東海市
〃	〃	八幡社貝塚跡		名和町姥ケ懐	東海市
〃	〃	堂ノ前貝塚跡		名和町堂ノ前	個人
〃	〃	松崎遺跡		大田町松崎	東海市
〃	〃	柳ヶ坪遺跡		高横須賀町柳ヶ坪	東海市
〃	〃	岩屋口古墳	1 基	高横須賀町岩屋口	〃
〃	〃	細井平洲先生旧里碑	1 基	荒尾町蜂ヶ尻（神明社境内）	平洲会
〃	〃	正法塚		富木島町西才道 3 6 - 1	宝珠寺
〃	〃	浜新田遺跡		大田町川北新田 2 9 3	東海市
〃	名勝	万葉の歌碑		高横須賀町北屋敷 5 9	諏訪神社
〃	〃	聚楽園大仏及び境内地		荒尾町西丸山 4 7 - 3	大仏寺
〃	天然記念物	つぶらしい	1 樹	大田町天神下ノ上 5	観福寺
〃	〃	大樟	1 樹	大田町上浜田 1 3 8	大宮神社
〃	〃	大樟	1 樹	荒尾町仏供田 4 5	観音寺
国登録	建造物	久野家住宅（愛山居）主屋	1 棟	加木屋町愛敬	法人
〃	〃	久野家住宅（愛山居）門柱	1 基	加木屋町愛敬	法人
〃	〃	久野家住宅（愛山居）庭門	1 基	加木屋町愛敬	法人
〃	〃	守隨家住宅（旧山田家住宅）石積護岸	1 基	名和町砂崎	個人

収蔵資料数

(単位:点)

区分	受贈		購入		計	区分	受贈		購入		計
	～5年度	6年度	～5年度	6年度			～5年度	6年度	～5年度	6年度	
細井平洲関係	1,971	76	329	1	2,377	美術工芸関係	467	8	3	0	478
郷土文人関係	1,077	33	111	0	1,221	石造物関係	6	0	0	0	6
生活関係	4,562	8	0	0	4,570	考古関係	1,739	28	22	0	1,789
生産生業関係	1,576	0	0	0	1,576	藩政幕政関係	28	0	5	0	33
交通・運輸・通信関係	4,983	188	0	0	5,171	文書・記録・写真関係	13,729	206	227	0	14,162
交易関係	1,238	4	21	0	1,263	図書（古書籍）	2,472	81	9	0	2,562
社会生活関係	199	7	0	0	206	雑資料	152	0	0	0	152
信仰関係	453	6	0	0	459	合計	37,530	660	734	1	38,925
民俗芸能・娯楽遊戯等関係	804	10	0	0	814	※考古関係資料の受贈総数は、発掘調査資料を含む。					
教育（民俗知識を含む）関係	2,074	5	7	0	2,086						

6 教育施設の利用状況

平洲記念館・郷土資料館の利用状況（令和6年度）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
入館者数 (人)		199	653	341	362	390	224	366	388	416	811	465	474	5,089	5,985	-896
開館日数 (日)		25	27	26	26	27	25	27	26	27	24	24	26	310	309	1
一日平均 (人)		8	24	13	14	14	9	14	15	15	34	19	18	16	19	-3
前年度合計 (人)		283	551	355	499	327	266	347	281	1,576	762	468	270	5,985		
内訳	個人	169	220	221	303	304	204	202	270	209	207	208	295	2,812	2,876	-64
	団体	30	433	120	59	86	20	164	118	207	604	257	179	2,277	3,109	-832
	団体数	1	2	2	2	3	1	2	4	3	7	4	2	33	34	-1

地区公民館・市民館の利用状況（令和6年度）

（単位：人）

館名	区分	利用件数		利用人数		館名	区分	利用件数		利用人数	
		令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度			令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
上名和公民館		1,439	1,393	21,001	19,035	横須賀公民館		1,275	1,246	12,365	12,527
下名和公民館		834	599	14,975	11,205	船島市民館		1,304	1,314	17,088	17,577
渡内公民館		1,307	1,245	14,749	13,666	大田市民館		1,885	2,056	18,288	17,684
加家公民館		1,205	1,193	12,384	16,429	加木屋市民館		1,746	1,731	25,624	24,991
平島公民館		477	705	3,745	4,983	三ツ池市民館		2,063	1,994	27,363	27,145
富田公民館		1,287	1,294	14,318	16,330	加木屋南市民館		1,392	1,278	16,618	15,721
富木島公民館		1,799	2,003	26,037	29,181	合 計		19,826	19,847	242,407	245,431
高横須賀公民館		1,813	1,796	17,852	18,957						

放課後児童クラブの利用状況（令和6年度）

（単位：人）

小学校区	区分	登録人数		利用人数		小学校区	区分	登録人数		利用人数	
		令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度			令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
緑 陽		179	178	71	69	大 田		186	200	65	74
名 和		245	247	89	87	横 須 賀		239	250	103	105
渡 内		95	117	40	45	加 木 屋		268	301	117	126
平 洲		201	203	56	64	三 三 池		133	145	54	55
明 倫		85	87	28	30	加木屋南		259	275	77	86
富 木 島		223	205	73	71	合 計		2,235	2,316	818	843
船 島		122	108	45	31	※登録人数は年間を通じた平均の登録人数 利用人数は平日の一日平均利用人数					

上野公民館の利用状況（令和6年度）

（単位：人）

月 室名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度 合 計	増減
第1集会室	240	272	299	293	153	260	1,400	324	253	303	291	228	4,316	4,338	-22
第2集会室	397	483	536	480	377	407	527	475	358	382	465	332	5,219	5,446	-227
調理実習室	56	53	35	70	33	21	58	115	108	35	81	28	693	775	-82
研 修 室	197	231	208	200	158	266	358	234	192	207	197	177	2,625	2,911	-286
講 義 室	474	562	516	480	302	473	525	410	302	352	389	587	5,372	5,102	270
展 示 室	418	570	566	471	367	419	491	481	413	333	325	522	5,376	5,462	-86
第1和室	84	131	152	121	69	78	114	89	96	97	95	73	1,199	1,403	-204
第2和室	113	154	165	156	97	109	155	123	136	140	126	107	1,581	1,505	76
工 芸 室	190	200	209	220	208	229	261	197	170	187	198	195	2,464	2,616	-152
合 計	2,169	2,656	2,686	2,491	1,764	2,262	3,889	2,448	2,028	2,036	2,167	2,249	28,845	29,558	-713
前年度 合計(人)	2,697	2,442	2,336	2,532	1,968	2,575	3,707	2,476	2,192	2,010	2,478	2,145	29,558		
増 減	-528	214	350	-41	-204	-313	182	-28	-164	26	-311	104	-713		
開館日数 (日)	25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	25	26	308		
一日平均 (人)	87	98	103	96	65	90	144	94	85	85	87	87	94		

荒尾スポーツ広場の利用状況(令和6年度)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
件数	183	168	154	118	87	132	151	181	182	179	171	157	1,863	1,873	-10
人数	885	874	703	518	354	549	717	773	768	773	800	744	8,458	9,561	-1,103

元浜スポーツ広場の利用状況(令和6年度)

(単位：人)

	元 浜 ス ポ ー ツ 広 場								
	ゲートボール場		パターゴルフ場			テニスコート		サッカー場	
	件数	人数	大人	小人	合計	件数	人数	件数	人数
4月	0	0	72	36	108	153	1,171	110	3,785
5月	0	0	113	82	195	145	1,109	110	4,263
6月	0	0	38	14	52	157	1,259	111	4,353
7月	0	0	9	7	16	163	1,230	130	4,569
8月	0	0	26	10	36	138	916	144	5,068
9月	0	0	26	24	50	143	1,050	112	4,615
10月	0	0	51	35	86	147	971	91	3,540
11月	0	0	98	31	129	132	895	114	5,781
12月	0	0	43	30	73	142	925	110	5,156
1月	0	0	51	28	79	130	835	102	3,803
2月	0	0	47	17	64	120	829	105	5,046
3月	0	0	92	75	167	165	1,162	157	5,919
合計	0	0	666	389	1,055	1,735	12,352	1,396	55,898
前年度	0	0	815	417	1,232	1,632	11,137	1,394	48,844
増減	0	0	-149	-28	-177	103	1,215	2	7,054

加木屋運動公園の利用状況（令和6年度）

（単位：人）

	加木屋球場				加木屋テニスコート			
	昼間		夜間照明		昼間（10面）		夜間照明（5面）	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	63	1,470	0	0	844	5,660	303	1,553
5月	72	2,808	20	96	898	6,228	240	858
6月	52	1,402	10	30	535	3,446	30	110
7月	68	1,712	14	140	526	3,619	0	0
8月	52	1,874	32	263	572	3,578	65	282
9月	30	1,113	20	120	689	4,448	266	944
10月	33	960	15	110	565	4,391	446	1,443
11月	40	1,000	0	0	798	4,997	386	1,391
12月	46	750	0	0	678	5,369	372	1,354
1月	37	1,040	0	0	808	5,186	0	0
2月	27	540	0	0	794	4,829	0	0
3月	66	1,365	0	0	886	5,400	289	1,248
合計	586	16,034	111	759	8,593	57,151	2,397	9,183
前年度	614	18,093	99	671	9,043	63,796	2,941	10,740
増減	-28	-2,059	12	88	-450	-6,645	-544	-1,557

※加木屋テニスコート夜間照明・・・1～2月は使用不可

※加木屋球場夜間照明・・・11～4月は使用不可

市民体育館の専用利用状況 施設別（令和6年度）

（単位：人）

	メインアリーナ		役員室		サブアリーナ		剣道場		柔道場		弓道場		会議室		合計		開館 日数
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
4月	42	4,032	16	300	48	1,385	43	1,403	59	1,367	12	167	9	190	229	8,844	29
5月	39	3,952	19	293	47	1,603	55	1,736	64	1,475	10	216	13	370	247	9,645	30
6月	47	4,349	18	273	50	1,542	63	2,204	63	1,488	12	310	6	233	259	10,399	29
7月	48	6,821	18	322	48	1,897	57	2,104	71	1,520	5	89	12	317	259	13,070	30
8月	43	2,460	17	169	52	1,345	53	2,097	61	1,642	5	56	16	406	247	8,175	30
9月	39	5,851	21	243	45	1,521	60	2,197	59	1,776	11	268	12	499	247	12,355	29
10月	52	7,158	24	216	56	1,938	50	1,852	59	1,534	4	16	17	402	262	13,116	30
11月	51	32,539	15	84	45	1,145	52	2,721	57	1,316	5	41	13	147	238	37,993	29
12月	45	3,254	13	99	47	1,740	41	1,822	49	1,282	3	56	7	220	205	8,473	27
1月	46	2,408	17	176	46	1,476	44	1,485	50	1,486	1	16	9	179	213	7,226	27
2月	45	4,167	23	281	42	1,534	43	1,584	50	1,275	7	80	14	424	224	9,345	27
3月	59	5,014	22	230	57	1,650	57	1,745	53	1,903	5	71	23	538	276	11,151	30
合計	556	82,005	223	2,686	583	18,776	618	22,950	695	18,064	80	1,386	151	3,925	2,906	149,792	347
前年度	427	45,108	110	1,343	434	6,994	530	22,202	638	15,275	48	746	387	4,161	2,574	95,829	349
増減	129	36,897	113	1,343	149	11,782	88	748	57	2,789	32	640	-236	-236	332	53,963	-2

市民体育館個人利用状況 種目別（令和6年度）

（単位：人）

	卓球	パドミントン	テニス	空手	剣道	柔道	弓道	合気道	その他	障害者種目			トレーニング*	合計
										トレ	卓球	その他		
4月	385	99	236	10	247	25	267	13	22	29	10	0	3,048	4,391
5月	423	137	277	24	173	8	321	0	8	24	6	0	3,229	4,630
6月	346	84	318	52	144	14	267	6	11	23	14	0	3,133	4,412
7月	311	111	323	10	134	14	306	5	14	11	8	0	3,148	4,395
8月	345	125	308	2	151	39	367	7	40	6	0	0	3,016	4,406
9月	330	148	272	7	94	19	228	4	9	18	8	0	2,780	3,917
10月	217	50	152	24	128	10	431	6	10	25	12	0	2,627	3,692
11月	372	77	277	37	90	3	278	0	9	42	12	0	2,324	3,521
12月	251	77	187	47	90	4	312	7	2	58	22	0	2,221	3,278
1月	485	96	413	36	96	20	328	2	25	53	20	0	2,407	3,981
2月	338	105	240	7	134	19	262	6	46	36	12	0	2,414	3,619
3月	383	126	200	20	117	21	313	1	38	49	15	0	2,712	3,995
合計	4,186	1,235	3,203	276	1,598	196	3,680	57	234	513			33,059	48,237
前年度	1,460	541	1,009	207	1,571	236	2,677	114	143	460			25,804	34,222
増減	2,726	694	2,194	69	27	-40	1,003	-57	91	53			7,255	14,015

芸術劇場の利用状況（令和6年度）

（単位：人）

月 \ 室		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
文化芸術施設	大ホール	6,936	9,433	10,755	11,044	6,488	6,789	11,187	14,926	11,057	10,627	6,547	8,564	114,353
	リハーサル室	1,182	1,457	1,861	2,263	1,567	1,092	1,784	1,340	1,088	1,395	1,676	1,429	18,134
地域文化交流施設	多目的ホール	2,278	2,387	2,289	2,833	2,652	2,404	3,608	3,084	2,235	7,392	1,828	2,084	35,074
	ワークショップ室	310	214	306	462	705	270	4,390	465	221	3,745	314	303	11,705
	会議室	371	484	508	401	317	348	477	451	340	461	336	431	4,925
	大練習室	1,322	1,249	1,680	1,648	1,520	1,427	1,893	1,597	1,160	1,300	1,386	1,169	17,351
	中練習室1	1,006	932	1,262	1,204	867	1,075	1,328	1,338	1,054	825	863	1,155	12,909
	中練習室2	774	689	851	744	826	768	888	717	981	672	716	698	9,324
	小練習室	460	419	478	445	587	475	494	515	346	459	515	373	5,566
	和室	89	170	172	167	189	221	140	220	84	176	140	153	1,921
	美術室	88	46	74	123	110	59	161	63	90	123	100	101	1,138
	ギャラリー1・2	105	93	22	284	637	190	750	453	235	265	195	453	3,682
	キッズルーム	63	93	49	105	79	120	172	165	101	172	136	21	1,276
	ミーティング室1	288	365	460	345	445	361	1,118	353	311	437	364	340	5,187
	ミーティング室2	274	274	277	296	300	273	318	286	271	252	269	222	3,312
	パフォーマンス室	578	584	598	595	884	553	612	580	479	558	491	511	7,023
	バンドスタジオ1	207	219	223	238	284	248	255	240	169	163	232	259	2,737
	バンドスタジオ2	180	208	240	179	250	264	228	176	201	192	198	265	2,581
合計		16,511	19,316	22,105	23,376	18,707	16,937	29,803	26,969	20,423	29,214	16,306	18,531	258,198
前年度合計(人)		16,426	12,594	16,113	23,199	17,583	20,540	25,164	18,021	17,423	28,879	16,625	14,667	227,234
増減		85	6,722	5,992	177	1,124	-3,603	4,639	8,948	3,000	335	-319	3,864	30,964
開館日数(日)		29	30	29	30	30	29	30	29	27	27	28	30	348
一日平均(人)		569	644	762	779	624	584	993	930	756	1,082	582	618	742

中央図書館の利用状況

中央図書館		令和5年度	令和6年度	増減
開館日数(日)		307	301	-6
入館者	総数(人)	255,409	259,873	4,464
	1日平均(人)	832	863	31
貸出者数	総数(人)	149,927	140,209	-9,718
	1日平均(人)	488	466	-23
貸出点数	本館(点)	608,155	596,185	-11,970
	ネットワーク施設(点)	8,461	9,121	660
	総数(点)	616,616	605,306	-11,310
	内他図書館から借受貸出(点)	1,036	1,856	820
	1日平均(点)	2,009	2,011	2

貸出点数の内訳(中央図書館分・資料分類別)

(単位:点)

分類		令和5年度	令和6年度	増減
一般閲覧室	0類 総記	4,524	4,707	183
	1類 哲学・宗教	13,672	12,945	-727
	2類 歴史・地理	28,558	29,340	782
	3類 社会科学	31,422	30,739	-683
	4類 自然科学	24,143	24,096	-47
	5類 工学・家事	45,253	44,944	-309
	6類 産業	10,372	10,367	-5
	7類 芸術	21,701	20,244	-1,457
	8類 言語	3,642	3,580	-62
	9類 文学	116,646	115,753	-893
	雑誌	17,093	16,277	-816
	点字本	8	3	-5
	合計①	317,034	312,995	-4,039
視聴覚・参考資料室	カセットテープ(一般)	517	370	-147
	カセットテープ(児童)	166	188	22
	C D(一般)	11,307	9,067	-2,240
	C D(児童)	4,037	3,391	-646
	ビデオテープ(一般)	216	230	14
	ビデオテープ(児童)	74	48	-26
	D V D(一般)	7,649	7,332	-317
	D V D(児童)	9,604	9,755	151
	参考資料	1	0	-1
	郷土資料	174	310	136
	合計②	33,745	30,691	-3,054
児童・親子閲覧室	児童書	250,727	245,836	-4,891
	紙芝居	6,649	6,663	14
	合計③	257,376	252,499	-4,877
ネットワーク施設	上野公民館	1,497	1,293	-204
	芸術劇場	1,757	2,688	931
	緑陽コミュニティセンター	1,094	1,051	-43
	富木島公民館	1,173	1,026	-147
	加木屋市民館	1,578	1,424	-154
	加木屋南市民館	1,362	1,639	277
	合計④	8,461	9,121	660
中央図書館貸出総合計(①+②+③+④)		616,616	605,306	-11,310

配本所の貸出数(令和6年度)

(単位:点)

配本所名	上野公民館	日本福祉大学	合計
貸出数	994	149	1,143

横須賀図書館の利用状況

※横須賀図書館は電気設備故障による停電に伴い令和7年2月15日～3月18日閉館
(会議室は令和7年2月15日～3月31日利用停止)

横 須 賀 図 書 館		令和5年度	令和6年度	増減
開館日数(日)		313	279	-34
入館者	総 数 (人)	180,849	171,304	-9,545
	1 日 平 均 (人)	578	614	36
貸出者数	総 数 (人)	58,629	48,303	-10,326
	1 日 平 均 (人)	187	173	-14
貸出点数	総 数 (点)	220,803	196,806	-23,997
	1 日 平 均 (点)	705	705	0

貸出点数の内訳(横須賀図書館分・資料分類別) (単位:点)

分 類		令和5年度	令和6年度	増減
一般コーナー	0類 総 記	1,968	1,774	-194
	1類 哲学・宗教	4,073	3,575	-498
	2類 歴史・地理	14,892	14,804	-88
	3類 社会科学	11,011	9,463	-1,548
	4類 自然科学	10,578	10,125	-453
	5類 工学・家事	19,086	16,425	-2,661
	6類 産 業	3,915	3,408	-507
	7類 芸 術	5,798	5,236	-562
	8類 言 語	2,815	2,764	-51
	9類 文 学	51,047	47,131	-3,916
	雑 誌 (一般)	8,011	7,136	-875
	点 字 本	0	2	2
	合 計 ①	133,194	121,843	-11,351
児童コーナー	児 童 書	85,443	73,174	-12,269
	紙 芝 居	1,575	1,344	-231
	合 計 ②	87,018	74,518	-12,500
視聴覚・参考資料 (中央図書館資料)	カセットテープ(一般)	2	2	0
	カセットテープ(児童)	0	1	1
	C D (一般)	480	383	-97
	C D (児童)	91	58	-33
	参考資料	0	0	0
	郷土資料	18	1	-17
	合 計 ③	591	445	-146
横須賀図書館貸出総合計 (①+②+③)		220,803	196,806	-23,997

会議室利用状況 (令和6年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大会議室(人)	352	373	469	428	338	291	292	387	385	400	171	0	3,886
小会議室(人)	439	405	496	466	360	339	386	422	400	353	186	0	4,252
合計	791	778	965	894	698	630	678	809	785	753	357	0	8,138
開館日数(日)	25	27	26	28	31	20	25	26	24	24	12	11	279
一日平均(人)	32	29	37	32	23	32	27	31	33	31	30	0	29

資料の分類別蔵書数・受入状況（令和6年度）

（単位：点）

				蔵書数	購 入	寄 贈	その他	計
図書 の 分 類 別 内 訳	中央図書館	一般閲覧室	0類 総 記	5,045	173	1	1	175
			1類 哲学・宗教	7,030	177	2	3	182
			2類 歴史・地理	14,914	602	1	5	608
			3類 社会科学	25,073	849	7	6	862
			4類 自然科学	12,756	556	4	1	561
			5類 工学・家事	13,386	587	7	4	598
			6類 産 業	7,050	205	0	1	206
			7類 芸 術	18,072	379	3	5	387
			8類 言 語	3,051	76	1	1	78
			9類 文 学	72,395	1,852	8	16	1,876
			点 字 本	415	0	0	4	4
		一般書小計 ①		179,187	5,456	34	47	5,537
		参 考 資 料 ②		12,431	100	3	12	115
		郷 土 資 料 ③		15,029	10	5	224	239
		児 童 書 ④		76,160	1,794	1	109	1,904
		中央図書館蔵書(①～④)合計 ⑤		282,807	7,360	43	392	7,795
	横須賀図書館	一般コーナー	0類 総 記	646	55	0	0	55
			1類 哲学・宗教	1,080	54	1	1	56
			2類 歴史・地理	2,761	331	0	0	331
			3類 社会科学	3,926	248	1	4	253
			4類 自然科学	3,913	326	0	0	326
			5類 工学・家事	4,579	304	2	2	308
			6類 産 業	1,457	76	0	0	76
			7類 芸 術	2,440	131	2	2	135
			8類 言 語	1,116	22	0	4	26
			9類 文 学	15,031	1,153	2	19	1,174
		一般書小計 ⑥		36,949	2,700	8	32	2,740
		児 童 書 ⑦		16,509	1,202	6	113	1,321
		横須賀図書館蔵書(⑥～⑦)合計 ⑧		53,458	3,902	14	145	4,061
		わくわく文庫 ⑨		13,059	892	0	0	892
		上 野 公 民 館 配本 ⑩		6,142	100	2	1	103
		日本福祉大学配本 ⑪		1,191	101	2	0	103
		蔵書数(⑤、⑧、⑨～⑪)合計 ⑫		356,657	12,355	61	538	12,954
視聴覚資料 の 分 類 別 内 訳	中央図書館	カセットテープ	1,047	0	0	0	0	
		C D	6,342	64	0	2	66	
		ビデオテープ	1,668	0	0	0	0	
		D V D	3,269	78	0	3	81	
		紙 芝 居	2,502	65	0	1	66	
	小 計		14,828	207	0	6	213	
	横須賀図書館	紙 芝 居	592	48	0	1	49	
	上野公民館	紙 芝 居	72	0	0	0	0	
	視聴覚資料 合計 ⑬		15,492	255	0	7	262	
令和6年度資料総点数 ((⑫)+⑬)		372,149	12,610	61	545	13,216		
令和5年度資料総点数		366,824	12,909	317	769	13,995		
増 減		5,325	-299	-256	-224	-779		

7 芸術劇場自主文化事業(令和7年度予定)

自主文化(鑑賞・にぎわい)事業

事業名	時期	場所	対象者
渡辺美里 40周年 BITTER☆SWEET ULTRA POP TOUR 2025	4月12日	大ホール	4歳以上
鋼鉄フェスティバルVol. 5 ANTHEM 40th ANNIVERSARY	4月19日	大ホール	小学生以上
落語会の仁義なき戦いー東海市編ー	6月7日	多目的ホール	小学生以上
folkハルト・シュトイデ ヴァイオリン・リサイタル	6月30日	多目的ホール	小学生以上
平日ナイトシアター 大人の出会いの教室	①7月7日 ②11月28日	多目的ホール	小学生以上
TOKAI ROCK FES. 2025	ライブ 8月30日 コンテスト 8月31日	多目的ホール	どなたでも
葵トリオ リサイタル	9月27日	大ホール	小学生以上
東海市文化祭2025 美術部門入賞作品展覧会	11月4日～ 11月9日	ギャラリー	どなたでも
キーウ・グランド・バレエ・シアター 「眠れる森の美女」～全幕～	11月23日	大ホール	4歳以上
ケルティック・クリスマス2025	11月30日	大ホール	小学生以上
第10回東海市紅白歌合戦	12月28日	大ホール	どなたでも
～ひとづくりパートナーシップ・シリーズ～ 名フィル 0歳からのわくわくオーケストラ	1月12日	大ホール	どなたでも
～ひとづくりパートナーシップ・シリーズ～ 笑う劇場 吉本新喜劇&バラエティ	1月17日	大ホール	どなたでも
開館10周年記念 プッチーニ作曲 オペラ「蝶々夫人」	1月30日 2月1日	大ホール	小学生以上
国際音楽祭NIPPON2026 特別公演 フェスティヴァル・オーケストラ	2月10日	大ホール	小学生以上
木之下晃メモリアル 公募写真展「寿齢讃歌」	2月13日～ 3月1日	アートスペース等	どなたでも
国際音楽祭NIPPON2026 特別公演 室内楽プロジェクト	2月25日	大ホール	小学生以上
ジャズの劇場	調整中	大ホール	小学生以上
嚶鳴サロンコンサート	年間2回	交流広場	どなたでも
交流パフォーマンス	随時	交流広場	どなたでも
交流ギャラリー	随時	交流ギャラリー	どなたでも

自主文化（ひとづくり）事業

事業名	時期	場所	対象者
東海市子どものオーケストラ第7回定期演奏会 劇場開館10周年記念スペシャル	8月24日	大ホール	5歳以上
劇場招待コンサート	12月16日	大ホール	市内小学5年生
	1月9日	大ホール	市内中学2年生
東海児童合唱団第25回定期演奏会	12月20日 12月21日	大ホール	どなたでも
東海市民合唱団第11回定期公演	3月15日	大ホール	小学生以上
東海市子どものオーケストラ	原則月4回	芸術劇場	小学生～高校生
東海市民合唱団	原則月3回	芸術劇場	概ね18歳以上
東海児童合唱団	原則月4回	芸術劇場	園児～高校生
東海市ダンスチームM i a k o t	原則月3回	芸術劇場	小学生～49歳
出合いの教室	年間38回	市内12小学校 適応指導教室 ほっと東海	市内小学4年生等
よしもと流楽しいコミュニケーション	年間2回	市内コミュニティ（2か所）	どなたでも
	年間2回	市内小学校（3校）	市内小学校児童
ふれあいコンサート	年間4回	市内福祉施設等（4か所）	市内福祉施設等利用者
おんがくさん はじめてコンサート	年間6回	市内保育園（6園）	市内保育園児
プラス レッスン	1月24日 1月25日	大練習室ほか	市内小学4年生～ 高校2年生

8 教育関連施設の概要

施 設 名	所 在 地	電 話 (F A X)	設置年月日	施 設 構 造
東海市立教員研修センター (まなぶん横須賀内)	養父町北反田 41	0562-31-0230 (0562-31-0234)	平 18. 4. 1	鉄骨鉄筋コンクリート 4 階建
東海市立学校給食センター 明倫調理場	荒尾町土取 70	052-604-2575 (052-604-7222)	昭 47. 3. 20	鉄筋コンクリート 一 部 鉄 骨 平 屋 建
〃 加木屋調理場	加木屋町倉池 6	0562-33-0466 (0562-33-6715)	昭 50. 3. 31	〃
東 海 市 立 上 野 公 民 館	名和町南之山 10-4	052-603-0304 (052-603-8881)	昭 45. 3. 31	鉄筋コンクリート 2 階建
東海市 上 名 和 公 民 館	名和町東田 20-8	052-601-3610 (FAX も同じ)	昭 50. 12. 27	〃
〃 下 名 和 公 民 館	名和町岡前 38	052-603-2459 (FAX も同じ)	昭 40. 9. 23	〃
〃 加 家 公 民 館	東海町二丁目 3-15	052-603-0261 (FAX も同じ)	昭 44. 3. 20	〃
〃 渡 内 公 民 館	荒尾町朝日出 12-1	052-604-0777 (FAX も同じ)	昭 47. 11. 30	〃
〃 平 島 公 民 館	荒尾町中屋敷 35	052-604-0448 (FAX も同じ)	昭 45. 11. 30	〃
〃 富 田 公 民 館	富木島町貴船 14-2	052-604-0888 (FAX も同じ)	昭 47. 11. 14	〃
〃 富 木 島 公 民 館	富木島町東山田 7-1	052-601-4545 (FAX も同じ)	平 8. 4. 1	鉄骨平屋建
〃 高横須賀公民館	高横須賀町戌亥屋敷 11-2	0562-32-7720 (FAX も同じ)	昭 44. 12. 15	鉄筋コンクリート 2 階建
〃 横 須 賀 公 民 館	横須賀町浜屋敷 2-11	0562-32-7808 (FAX も同じ)	昭 57. 4. 6	〃
東海市立加木屋南市民館	加木屋町北鹿持 20-24	0562-34-4082 (FAX も同じ)	昭 57. 4. 6	鉄骨 2 階建
〃 三 ツ 池 市 民 館	加木屋町栗見坂 2-1	0562-34-3295 (FAX も同じ)	昭 61. 4. 1	鉄骨平屋建
〃 船 島 市 民 館	富木島町船島 2-1	052-603-1492 (FAX も同じ)	昭 63. 4. 1	〃
〃 加 木 屋 市 民 館	加木屋町一本木 2-1	0562-32-7880 (FAX も同じ)	平元 4. 8	〃
〃 大 田 市 民 館	大田町細田 14	0562-32-6881 (FAX も同じ)	平 5. 4. 1	〃

建物延面積㎡	施 設 内 容	開館時間
1,992.75	第1研修室(60人)、第2研修室(30人)、図書室、視聴覚室、サロン、ほっと活動室、相談室1～3、教育支援センター「ほっと東海」、事務室、会議室	月 9:00～ 17:00 火～金 9:00～20:00
1,562.68	調理室、洗浄室、冷蔵庫、冷凍庫、野菜庫、調味料・乾物庫、下処理室、検収室、ボイラー室、事務室、廃水処理施設併設	
1,603.13	〃	
1,146.23	集会室2(60人)、図書室(24人)、和室2(60人)、講義室兼展示室(200人)、調理実習室(40人)、工芸室(18人)、適応指導教室「ほっと東海」、研修室(24人)、事務室	9:00～ 21:00
616.02	ホール(200人)、会議室2(30人)、和室2(30人)、調理室(20人)、事務室	
338.85	ホール(160人)、会議室2(60人)、和室3(30人)、調理室(20人)、事務室	
427.92	ホール(180人)、研修室(20人)、和室2(30人)、調理室(10人)、事務室	
522.21	ホール(230人)、会議室2(25人)、和室2(30人)、調理室(20人)、事務室	
406.16	ホール(150人)、和室4(45人)、調理室(20人)、事務室	
475.59	ホール(120人)、研修室4(97人)、和室2(10人)、調理室(30人)、事務室	
808.98	多目的室(250人)、会議室2(40人)、研修室(30人)、調理室(40人)、事務室	
448.95	ホール(200人)、研修室(35人)、和室2(45人)、調理室(10人)、事務室	
459.00	ホール(150人)、会議室2(30人)、研修室3(60人)、調理室(6人)、事務室	
686.47	体育室(250人)、会議室2(36人)、実習室(24人)、事務室	
700.05	体育室(250人)、会議室2(34人)、研修室(30人)、事務室	
700.45	体育室(250人)、会議室2(44人)、研修室(30人)、事務室	
700.69	体育室(250人)、会議室2(40人)、研修室(30人)、事務室	
705.38	体育室(250人)、会議室2(40人)、研修室(30人)、事務室	

施 設 名	所 在 地	電 話 (F A X)	設置年月日	施 設 構 造
東 海 市 立 平 洲 記 念 館 〃 郷 土 資 料 館	荒尾町蜂ヶ尻 67	052-604-4141 (FAX も同じ)	昭 49. 3. 3	鉄筋コンクリート造 2 階建
東 海 市 民 体 育 館	高横須賀町櫛形 1-1	0562-32-2311 (0562-32-0319)	昭 63. 5. 15	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造) 3 階建
東海市立加木屋運動公園	加木屋町西御嶽 31-2	0562-35-0678 (FAX も同じ)	昭 52. 4. 1	木造 平屋建
〃 元浜スポーツ広場	元浜町 54-1	0562-32-6865 (FAX も同じ)	平 4. 1. 4	鉄骨造 平屋建
〃 荒尾スポーツ広場	荒尾町大狭間 23-1	———	平 26. 11. 16	鉄骨造
東 海 市 立 中 央 図 書 館	中央町三丁目 2	052-601-5335 (052-601-0999)	昭 52. 7. 14	鉄筋コンクリート造 2 階建
東海市立横須賀図書館 (まなぶん横須賀内)	養父町北反田 41	0562-39-1222 (0562-33-1555)	平 31. 1. 4	鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建
東 海 市 芸 術 劇 場	大田町下浜田 1016	0562-38-7030 (0562-38-7028)	平 27. 10. 4	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造) 5 階建
東海市創造の杜交流館	横須賀町狐塚 11	0562-32-5700 (0562-32-5718)	令 7. 5. 1	鉄骨構造 (一部鉄筋コンクリート造) 2 階建

※東海市営温水プールは、令和6年3月31日で廃止。



グラウンド・ゴルフ場

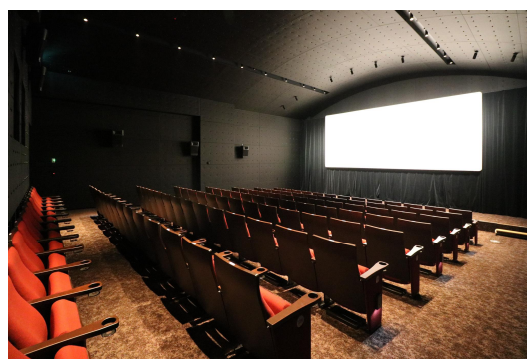


芸術劇場大ホール

建物延面積㎡	施 設 内 容	開館時間
925.79	各展示室、収蔵庫、講義室、ホール、事務室	9:00～16:30
11,050.13	メインアリーナ、サブアリーナ、剣道場、柔道場、弓道場、トレーニング室、会議室、役員室、観客席（固定席 1,270 席）	9:00～22:00
127.00	軟式野球 1 面、 テニスコート 10 面（夜間照明施設有り） （敷地面積 40632.24 ㎡）	【野球場】 5 月～10 月 7:00～21:00 【テニスコート】 3 月～12 月 7:00～21:00 【共通】 その他の月 7:00～17:00
49.60	ゲートボール場 2 面、 パターゴルフ場（9 ホール）、 テニスコート 2 面、 サッカー場 1 面（夜間照明施設有り） （敷地面積 24,999.60 ㎡）	【ゲートボール場・テニスコート】 5 月～10 月 7:00～19:00 その他の月 7:00～17:00 【パターゴルフ場】 4 月～9 月 9:00～18:00 その他の月 9:00～17:00 【サッカー場】 通 年 7:00～21:00
46.34	広場（敷地面積 9655.02 ㎡）	5 月～10 月 7:00～19:00 その他の月 7:00～17:00
2,410.69	一般閲覧室（74 人）、児童親子閲覧室（25 人）、視聴覚・参考資料室（25 人）、閲覧室（168 人）、集会室（28 人）、ボランティア室（12 人）、子ども読書活動準備室、閉架書庫、和室、電算室、整理室、事務室	9:00～20:00
1,897.43	閲覧コーナー、一般コーナー、児童コーナー、読み聞かせコーナー、閉架書庫、事務室、街角サロン、大会議室（60 人）、小会議室（36 人）、閲覧学習コーナー	9:00～21:00
13,279.90	大ホール（1,025 席）、多目的ホール（274 席）、リハーサル室、ワークショップ室、会議室、大練習室、中練習室 1、中練習室 2、小練習室、和室、美術室、ギャラリー 1、ギャラリー 2、ミーティング室 1、ミーティング室 2、キッズルーム、パフォーマンス室、バンドスタジオ 1、バンドスタジオ 2、劇場事務室	9:00～22:00 ※施設・チケット申込等と使用料支払いは 20:00 まで
2653.05	映像編集室 1、映像編集室 2、映像音響調整室、収録・撮影スタジオ、カフェスペース、会議室 1、会議室 2、会議室 3、多目的室、多目的ギャラリー、ミーティング室、横須賀文化発信コーナー、映像ホール 1、映像ホール 2、交流・イベント広場	9:00～22:00 ※施設・チケット申込等と使用料支払いは 21:00 まで



学校給食センター加木屋調理場



創造の杜交流館 映像ホール 1

東 海 市 市 民 憲 章

私たちは、古い歴史と輝かしい未来を持つ東海市の市民
です。私たちはよい市民となり、いっそう豊かで住み
よいまちをつくるために、ここに市民憲章をさだめます。

- 緑と花につつまれたきれいなまちをつくりましょう
- 笑顔にみちた心のかよう家庭をつくりましょう
- ゆたかな心を養い すこやかなからだをつくりましょう
- 進んできまりを守り よい習慣をつくりましょう
- 元気で働き 明るいしあわせなまちをつくりましょう

東海市都市宣言

平成22年3月4日

東海市は、東海市まちづくり基本条例（平成15年条例第43号）に基づき、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現することを市民と市の共通の願いとして、市民の持つ豊かな社会経験、知識、創造性などを生かし、それぞれに果たすべき責任と役割を分担し、共に手を携え、相互に補完し、協力することを基本としたまちづくりに取り組んでいます。

このような認識の下、東海市らしさの創造と市民の夢の実現をめざし、さらに豊かで住みよいまちづくりの方向性や取り組みについて、市民に、そして広く全国に発信するため、ここに次のとおり都市宣言をします。

- ひとづくりと平和を愛するまち東海市
- 子育てと結婚を応援するまち東海市
- 生きがいがあり健康なまち東海市
- 緑と洋ランにつつまれたまち東海市
- にぎわいあふれ個性輝くまち東海市